

- 鳥類 -

## 彦根市の鳥類調査結果の概要

今回の調査で新たに確認された鳥類は 37 種あり、彦根市の鳥類として現在までに確認された総数は 38 科 166 種となる。(飼い鳥が野生化したドバトを含む。)

「彦根市の自然(1986 年)」における彦根市の鳥類リストでは、129 種が確認されている。

「滋賀県自然誌(1991 年)」によると、滋賀県で確認されている鳥類の種類は 262 種である。また、「滋賀県で大切にすべき野生生物(2000 年版)」では、滋賀県で確認された鳥類は 18 目 57 科 272 種となっている。彦根市では、この半数を超す鳥類の種類が記録されたことになる。

季節移動型別に見ると留鳥が 65 種と最も多く、次いで冬鳥が 50 種、夏鳥が 27 種、旅鳥が 24 種となっている。夏鳥と留鳥の計 92 種については、彦根市域およびその周辺で繁殖している可能性があるが、今回の調査では繁殖に関する調査はすべての種に関しては行っていない。彦根市域における鳥類の保護についてさらに検討していくためには、それぞれの種の繁殖状況の把握(営巣の確認など)を十分にしていく必要がある。

調査によって、新たに生息が確認された種は 37 種であるが、今までから生息が知られていた種についても、分布の広がりが新たにわかった。

新たに生息が確認されたものとしては、オオミズナギドリ、マガン、ヒシクイ、シマアジ、ホオジロガモ、ミサゴ、クマタカ、ハイイロチュウヒ、イヌワシ、ハヤブサ、チゴハヤブサ、コチョウゲンボウ、エリマキシギ、ヤマシギ、アオバズク、フクロウなどであり、レッドデータブックに絶滅危惧種、絶滅危機増大種、希少種としてあげられている種類が多数含まれる。

また、分布域について新たな情報を得たものに、コハクチョウ、オオタカ、サシバ、アオバト、ヨタカ、コシアカツバメ、ヒレンジャク、ルリビタキ、キビタキなどがある。

分布域調査としては、生息環境をもとに大きく山林、水田地帯、市街地、琵琶湖岸内湖、河川敷・河辺林の 5 つに分けてその分布状況を示した。それぞれの鳥類が種類により限られた生息環境にしか分布していないことがわかる。特に貴重種においては、その中でもさらに限られた生息環境(豊かな自然環境)の中のみでしか生息できないことから、実際の鳥類保護にあたっては、十分な生息環境調査が必要である。

特に山林部におけるクマタカ、イヌワシ、ハチクマ、オオタカ、ハヤブサ、コミミズク、ヨタカ、水田地帯におけるハイイロチュウヒ、コチョウゲンボウ、ヒタカ、琵琶湖岸・内湖におけるマガン、ヒシクイ、チュウヒ、チョウゲンボウ、河川敷・河辺林におけるミサゴ、オオタカ、チュウヒ、チョウゲンボウについては、分布域の周辺部を含めた生息環境の調査を実施し、保護に向けた具体的な環境保全対策をすすめる必要がある。

今回の調査では、旅鳥については十分調査できなかったが、渡りの時期における集中的な調査を行えば、確認種類はさらに増えるだろう。また、山林部については、さらなる継続調査により、新たな生息種が確認できる可能性は大きい。

<参考文献>

環境省自然環境局野生生物課（編）. 2002. 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 [鳥類]. (財)自然環境研究センター. 280pp.

環境省自然保護局計画課自然環境調査室（1997）都道府県別メッシュマップ 25 滋賀県

山岸哲（監） 江崎保男、和田岳（編）. 2002. 近畿地区・鳥類レッドデータブック - 絶滅危惧種判定システムの開発 - . 京都大学学術出版会. 225pp.

滋賀県琵琶湖環境部自然保護課（編）. 2000. 滋賀県で大切にすべき野生生物（2000年版）

（平松 光三）

## 貴重種の解説・調査結果について

貴重種の解説 -

カイツブリ	Tachybaptus ruficollis			要注目種
カイツブリ科		滋賀県	その他重要種	近畿 - 国 -

形態の特徴

生息環境

和名 学名 科名

彦根市におけるカテゴリー区分

「滋賀県で大切にすべき野生生物」によるカテゴリー区分

「近畿地区・鳥類レッドデータブック」によるカテゴリー区分

環境省のカテゴリー区分

種の概略の大きさ、わかりやすい外形的な特徴等を記載。近似種がある場合はその区別点等についても記載。

生息環境や市内の分布状況を具体的に記載。

メッシュ地図について

メッシュは環境省のメッシュ地図を使用しています。



姿の確認できた分布域およびその可能性のある分布域

分布状況を示すにあたり、メッシュによる表示を行っていますが、これは、メッシュ内全域に確認記録およびその可能性があるというわけではなく、メッシュ内のどこかに確認記録およびその可能性があるということです。

- 調査結果 -

科名	種名	学名	分布域			季節 移動型	国	近畿	県	市

科名 種名 学名

今回の調査で確認できた環境および確認がされる可能性のある環境を表示

本市における渡りの区分を記載

環境省のカテゴリー区分

「近畿地区・鳥類レッドデータブック」によるカテゴリー区分

「滋賀県で大切にすべき野生生物」によるカテゴリー区分

彦根市におけるカテゴリー区分

カテゴリーに記載している記号について

環境省		近畿	
絶滅	EX	危機的絶滅危惧	1
野生絶滅	EW	絶滅危惧	2
絶滅危惧 A類	CR	準絶滅危惧	3
絶滅危惧 B類	EN	要注目	4
絶滅危惧 類	VU		
準絶滅危惧	NT		
情報不足	DD		

滋賀県		彦根市	
絶滅危惧種		絶滅種	A
絶滅危機増大種		絶滅危惧種	B
希少種		危急種	C
要注目種		希少種	D
分布上重要種		要注目種	E
その他重要種			
絶滅種			

今回の調査結果で、絶滅のおそれのある種とその現状が明らかになりました。本書において、本来こうした情報をすべて記載し、野生生物の保全に役立てるべきものと考えますが、こうした情報の公開については、逆に希少性という観点から採取されてしまう恐れが発生します。

こうしたことから、貴重な野生生物のうち、特にその分布状況や生息（生育）地について公開すべきでない判断したものについては、部分的に非公開として、記載をひかえています。

クマタカ *Spizaetus nipalensis*

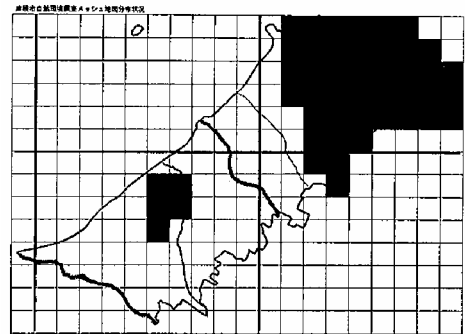
絶滅危惧種

ワシタカ科

滋賀県：絶滅危惧種 近畿：絶滅危惧 国：絶滅危惧 B類

形態の特徴 大型の猛禽類で、翼の幅は広く、尾は長い。翼の下面に縞模様がある。全身暗褐色で、胸には縦斑、腹には横斑がある。ゆっくりしたはばたきと滑空を交互にして飛び、翼を広げたまま輪をえがいて飛ぶこともある。ハチクマは翼の幅が狭く、首が長く見える。イヌワシは全体に黒褐色で、翼が細長い。

生息環境 山地のよくしげった森林にすみ、高い木の上に大きな巣をつくる。



備考 留鳥

イヌワシ *Aquila chrysaetos*

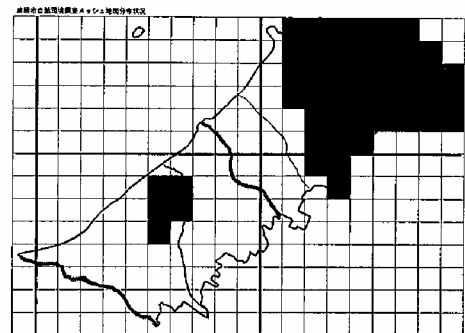
絶滅危惧種

ワシタカ科

滋賀県：絶滅危惧種 近畿：危機的絶滅危惧 国：絶滅危惧 B類

形態の特徴 黒褐色の大きな猛禽類である。両翼をはってはばたかずに飛行する。クマタカは翼幅が広く、翼下面が白く見える。

生息環境 けわしい山地にすみ、断崖の岩棚や大きな木の上に、枯れ枝を積み上げて大きな巣をつくる。



備考 留鳥

ヨシゴイ *Ixobrychus sinensis*

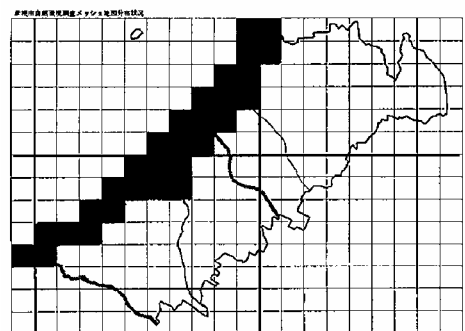
危急種

サギ科

滋賀県：絶滅危機増大種 近畿：絶滅危惧 国：-

形態の特徴 全長約 35cm。黄褐色の小さなサギで、飛ぶと翼の先の風切が黒く見える。ふだんは首を縮めているが、警戒すると首を伸ばして、じっと動かさないようにする習性がある。しげみの中にいることが多く、見つけにくい。がオーオーと鳴く声はよくきかれる。

生息環境 湖岸、内湖、河川などのヨシやマコモなどの生えた場所で生活する。



備考 夏鳥

マガン *Anas albifrons*

危急種

ガンカモ科

滋賀県：絶滅危機増大種

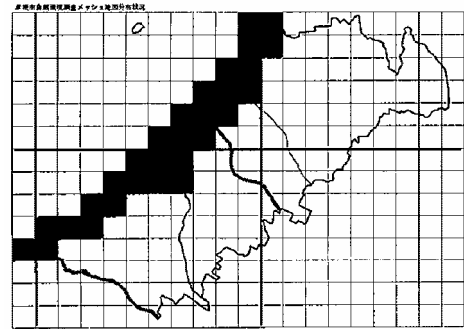
近畿：準絶滅危惧

国：準絶滅危惧

形態の特徴 全体に灰褐色で、胸から腹にかけて黒色の横斑がある。背や翼の羽縁は淡色である。嘴は桃色から橙色で、嘴の付け根から額にかけては白い。足はオレンジ色である。

生息環境 湖沼や水田、湿地に生息する。

備考 冬鳥。天然記念物



ヒシクイ *Anser fabalis*

危急種

ガンカモ科

滋賀県：絶滅危機増大種

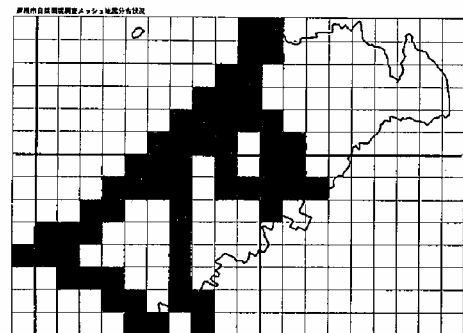
近畿：準絶滅危惧

国：絶滅危惧 類

形態の特徴 全長 80～100cm。体は黒褐色で、下尾筒と上尾筒は白く、嘴は黒いが先端は橙色である。脚も橙色である。マガンは少し小さく、嘴がピンク色でつけ根は白く、腹には不規則な黒い横斑がある。

生息環境 琵琶湖や内湖で見られる。

備考 冬鳥



ミサゴ *Pandion haliaetus*

危急種

ワシタカ科

滋賀県：絶滅危機増大種

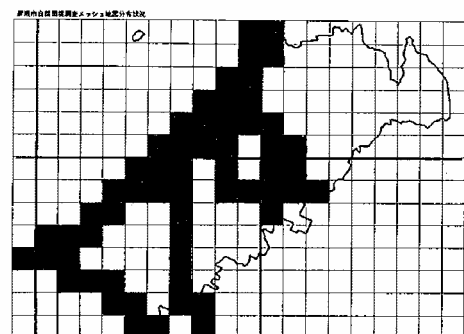
近畿：絶滅危惧

国：準絶滅危惧

形態の特徴 頭部と腹部、つばさの下面は白く、過眼線は黒く、体の上面は黒褐色である。つばさは長く、尾は短い。魚を主食とする猛禽類で、空中で停空飛行をしながら、魚を探し水中にダイビングして魚を捕らえる。

生息環境 琵琶湖や河川敷などに住み、岩や大木に営巣する。

備考 留鳥



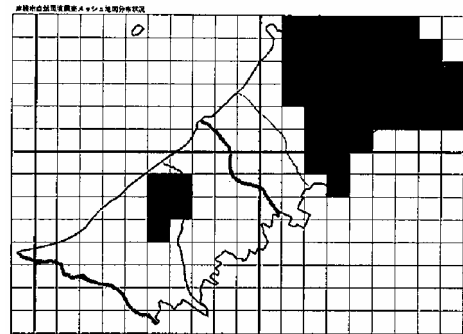
ハチクマ *Pernis apivorus*

危急種

ワシタカ科

滋賀県：絶滅危機増大種 近畿：絶滅危惧 国：準絶滅危惧

形態の特徴 全身は地味な褐色で、羽の色は変異が多く、暗色・褐色・白色など様々である。喉の下に暗色斑があり、尾羽には幅広い黒い横縞がある。首が細長く突き出たように見える。ハチの幼虫を好み、地上に下りて土中のハチの巣を掘り出して食べる。翼を上上げてバタバタとふるわせる独特の飛行を行う。サシバはひとまわり小型で、翼が赤褐色を帯びる。オオタカは大きさが近いが尾羽が長く、下面が白っぽく見える。



生息環境 低い山の林にすみ、木の上に巣をつくる。  
備考 夏鳥

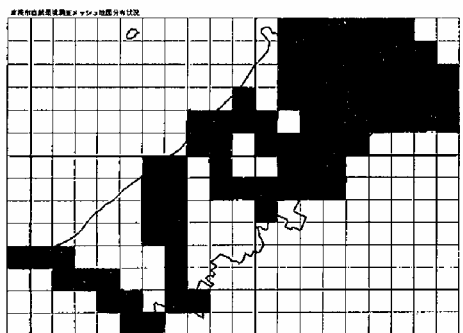
オオタカ *Accipiter gentiles*

危急種

ワシタカ科

滋賀県：絶滅危機増大種 近畿：準絶滅危惧 国：絶滅危惧 類

形態の特徴 体の上面は暗青灰色で顔に明瞭な眉斑がある。下面は白く、黒色の細かい横斑がある。雌は雄よりやや褐色がかっている。ハイタカはやや小さく、サシバは翼が赤褐色を帯びている。ハチクマは頭部が長く、尾羽に太い横縞が目立つ。



生息環境 平地から低山地の森林に生息している。  
備考 留鳥

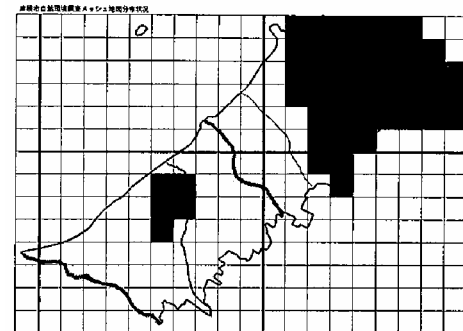
サシバ *Butastur indicus*

危急種

ワシタカ科

滋賀県：希少種 近畿：絶滅危惧 国：-

形態の特徴 ハシボソガラスくらいの茶褐色のタカ。翼は細長く、のどは白く、中央に黒く太い縦線があり、腹部には横斑がある。飛んでいるときは翼が細長く見える。



生息環境 低い山の林に住み、針葉樹に営巣する。  
備考 夏鳥



ハイイロチュウヒ *Circus cyaneus*

危急種

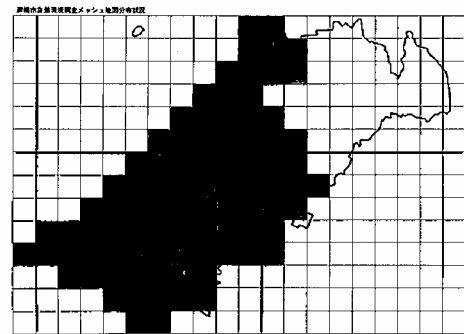
ワシタカ科

滋賀県：絶滅危機増大種 近畿：絶滅危惧 国：-

形態の特徴 雄は上面と顔から胸までが灰色である。雌は上面が灰褐色で風切りと尾羽に黄帯がある。上尾筒は白い。

生息環境 ヨシ原や平野部の草原、農耕地に渡来する。

備考 冬鳥



チュウヒ *Circus aeruginosus*

危急種

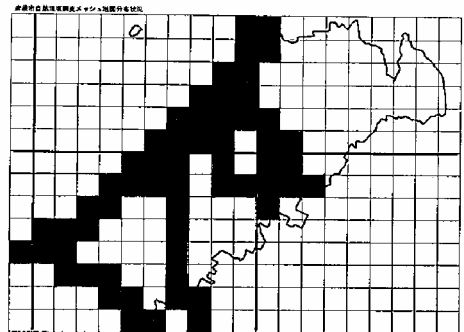
ワシタカ科

滋賀県：絶滅危機増大種 近畿：危機的絶滅危惧 国：絶滅危惧 類

形態の特徴 つばさも尾も長い中形のタカ。褐色をしたものが多いが色彩には個体差が多い。滑空時に翼の両端を上へ上げ、V字形に保って飛ぶ。

生息環境 広いヨシ原に生育し、水辺に近いヨシ原や乾燥した草原の地上にヨシの枯れ枝を高く積み重ねた大きな巣をつくる。

備考 留鳥



ハヤブサ *Falco peregrinus*

危急種

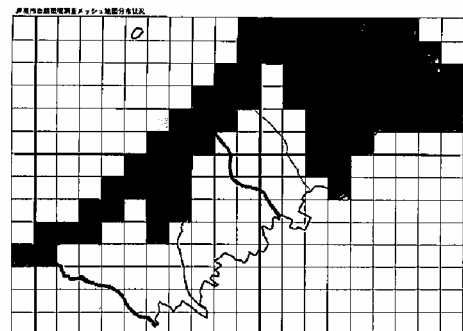
ハヤブサ科

滋賀県：絶滅危機増大種 近畿：準絶滅危惧 国：絶滅危惧 類

形態の特徴 成鳥の上面は灰色がかった濃い青色で頭部は黒色であり、頬には黒いひげのような模様がある。飛行時には翼の先がとがって見える。チゴハヤブサは本種より小型で下腹部に赤褐色部がある。

生息環境 小型～中型の鳥類が豊富な場所に生育する。

備考 留鳥



コチョウゲンボウ *Falco columbarius*

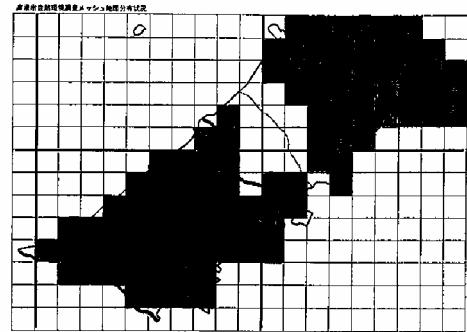
危急種

ハヤブサ科

滋賀県：希少種 近畿：絶滅危惧 国：-

形態の特徴 眉斑のある小型のタカ。雄は頭上から体の上面が青灰色で尾の先端に黒帯びがあり、体の下面は淡い茶色である。雌は体の上面が灰色味のある褐色で、下面には赤味がなく、まだら模様が大きい。コチョウゲンボウは尾が長く、雄の背面が茶褐色である。

生息環境 冬鳥として農耕地に渡来し、越冬する。  
備考 冬鳥



コアジサシ *Sterna albifrons*

危急種

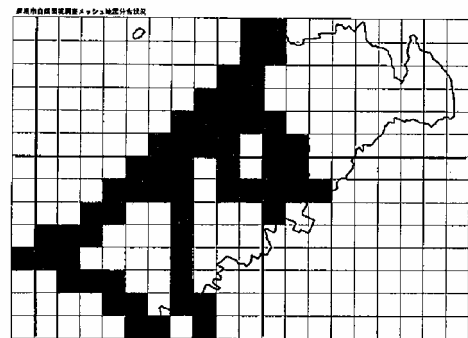
カモメ科

滋賀県：希少種 近畿：絶滅危惧 国：絶滅危惧 類

形態の特徴 体と尾は白く、背と翼が淡青灰色である。夏羽では嘴が黄色く、先は黒い。足も黄色い。頭は黒く、額は白い。アジサシは大きく、嘴も黒く、夏羽では頭も全部黒くなる。

生息環境 湖岸や河川の中洲などの砂礫地や人工的な裸地に産卵する。卵もひなも小石によく似ている。

備考 夏鳥



コミミズク *Asio flammeus*

危急種

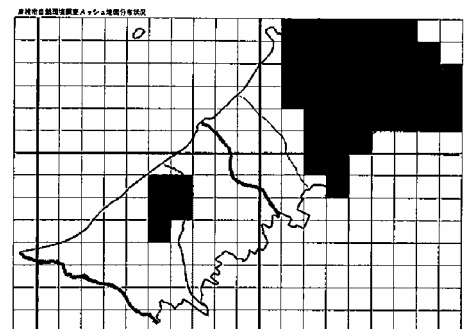
フクロウ科

滋賀県：絶滅危機増大種 近畿：絶滅危惧 国：-

形態の特徴 全身黄褐色の地色に黒褐色の縦斑がある。小さな耳羽をもつ。目は黄色く、目の周りは黒い。飛ぶと初列風切根もとの橙褐色が目立つ。トラフズクは耳羽が長く、目は橙色。フクロウは大きく、目が黒い。

生息環境 平地の農耕地や草原、河原などに生息している。

備考 冬鳥



ヨタカ *Caprimulgus indicus*

危急種

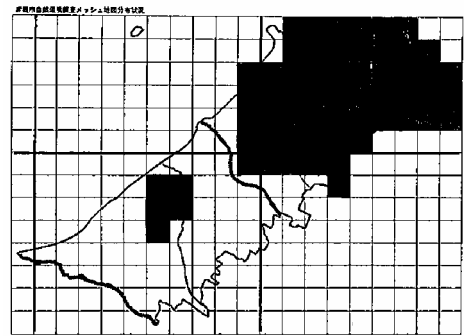
ヨタカ科

滋賀県：絶滅危機増大種 近畿：絶滅危惧 国：-

形態の特徴 全身枯れ葉模様で、尾とつばさが長い。頭部は大きく平らで、嘴は小さく根もとにはひげ状の剛毛がある。木の枝に平行にとまる。

生息環境 平地から山地の木の散在する草原や明るい林に渡来する。巣は作らず、林内や草原の地上に直接産卵し、ひなを育てる。

備考 夏鳥



トラツグミ *Turdus dauma*

危急種

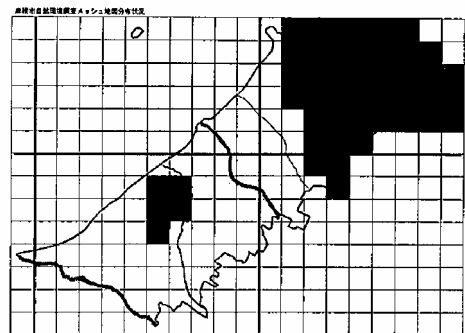
ヒタキ科

滋賀県：希少種 近畿：絶滅危惧 国：-

形態の特徴 黒と白と黄の体で、飛ぶと翼の裏に白い帯がみえる。ツグミは小さく、白い眉斑とくり色のつばさを持つ。

生息環境 低山帯のよく茂った森林で繁殖し、冬には平地の暖地に移動する。

備考 留鳥



カンムリカイツブリ *Podiceps cristatus*

希少種

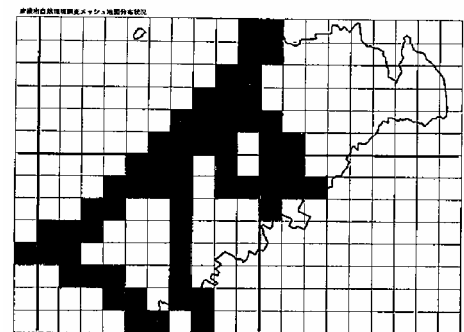
カイツブリ科

滋賀県：希少種 近畿：準絶滅危惧 国：-

形態の特徴 全長約 55cm。カイツブリ科で最も大きく、首が長い。冬羽は背が茶褐色で顔から首は白い。夏羽は黒い冠羽とエリマキのような飾り羽がよく目立つ。アカエリカイツブリは少し小さく、首が淡褐色。

生息環境 淡水湖沼や大きな河川に生息する。ヨシなどの植物や杭を支えにして、水上に巣をつくる。市内でも湖岸や内湖、河川等多くの場所で見られる。

備考 冬鳥



ササゴイ *Butorides striatus*

希少種

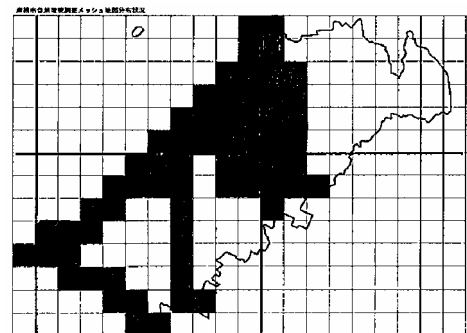
サギ科

滋賀県：希少種 近畿：準絶滅危惧 国：-

形態の特徴 全長 40～50cm。全身が暗緑青色で頭部と翼は青味が濃い。翼には笹模様がある。目と足が黄色い。ゴイサギより、ひとまわり小さく、嘴や首が細い。

生息環境 湖岸や河川の下流域に生息している。

備考 夏鳥



チュウサギ *Egretta intermedia*

希少種

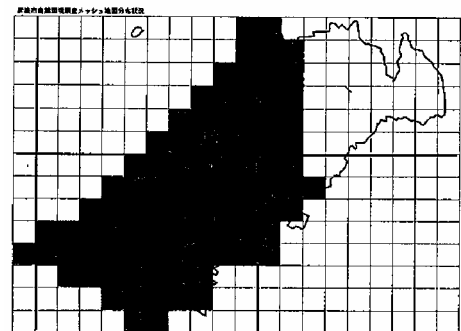
サギ科

滋賀県：希少種 近畿：準絶滅危惧 国：準絶滅危惧

形態の特徴 全長約 70cm。ダイサギとコサギの中間の大きさで、嘴が短い。繁殖期には嘴が黒くなり、肩と胸に長い飾羽が生じる。非繁殖期は嘴が黄色になり、飾羽は消える。ダイサギは全長約 90cm と大きく、嘴は春、夏は黒く、秋、冬は黄色く、嘴も首も足も長い。コサギは全長約 60cm と小さく、嘴は一年中黒く、足ゆびが黄色く、繁殖期には頭部に長い冠羽、背にまき上がった飾羽が生じる。

生息環境 水田や湿地、河川などにすみ、山麓の森林や河土手の竹林でゴイサギ、アマサギ、コサギ、ダイサギなどと共に集団営巣する。

備考 留鳥



コハクチョウ *Cygnus columbianus*

希少種

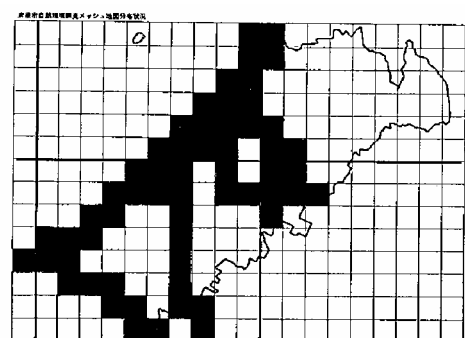
ガンカモ科

滋賀県：希少種 近畿：準絶滅危惧 国：-

形態の特徴 全長約 120cm。全身が白く、脚は黒い。嘴は基部が黄色く、先端部は黒い。オオハクチョウより一回り小さく、首が太めで、嘴の基部の黄色が小さい。アメリカコハクチョウは嘴がほとんど黒い。

生息環境 10月中旬に湖北地方を中心に琵琶湖に渡来し、越冬中期に一部が本市に移動してくる。琵琶湖の浅瀬で水草を食べているが、餌がなくなると、水田などにあがることもある。

備考 冬鳥



オシドリ *Aix galericulata*

希少種

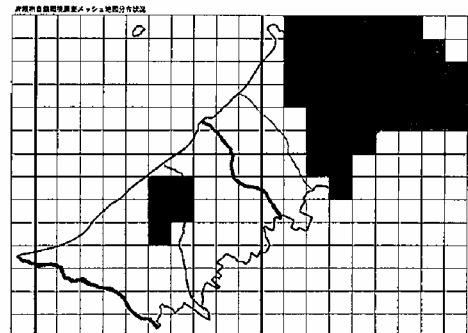
ガンカモ科

滋賀県：希少種 近畿：準絶滅危惧 国：-

形態の特徴 雄は目の上から冠羽にかけて白く、首には長い褐色の羽があり、胸は栗色、翼は橙色である。下面は白く、嘴は赤い。繁殖期には大きな銀杏羽をもつ。雌は灰褐色である。目のまわりが白く、目の後ろに白い線が伸びる。

生息環境 低地から亜高山帯にかけて生息する。

備考 留鳥



トモエガモ *Anas formosa*

希少種

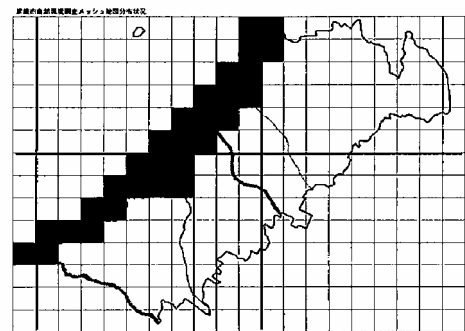
ガンカモ科

滋賀県：希少種 近畿：準絶滅危惧 国：絶滅危惧 類

形態の特徴 全長約 40cm。コガモよりやや大きなカモで、雄は顔に緑と黒、黄色と白線を組み合わせた独特の模様をもつ。胸の横に白い縦線が目立つ。雌は褐色で嘴のつけ根に小さく丸い白斑がある。コガモの雌には、嘴のつけ根の白斑はない。

生息環境 湖岸や内湖などでコガモなどと一緒にいることが多い。

備考 冬鳥



ヨシガモ *Anas falcate*

希少種

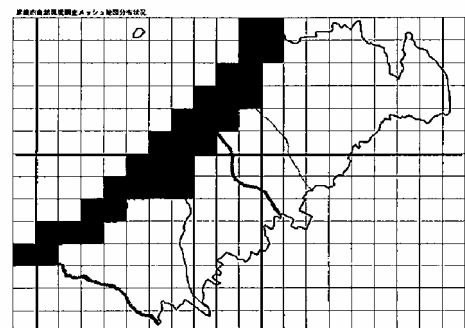
ガンカモ科

滋賀県：希少種 近畿：準絶滅危惧 国：-

形態の特徴 全長約 50cm。頭が緑色と赤紫色で三列風切が鎌のような形をしたカモ。首は白く黒い輪がある。体は灰色で飾り羽が長く後方に垂れている。本種の嘴は黒色であるが、マガモは嘴が黄色で胸がぶどう色である。ハシビロガモの嘴は幅広で、胸が白く脇が栗色である。オカヨシガモの嘴の下部は橙色で脚も黄色い。ヒドリガモは褐色味が強く、嘴は灰色。

生息環境 琵琶湖や内湖、河口などに見られる。夕方、夜間、早朝に水田や湿地で採食することがある。

備考 冬鳥



アメリカヒドリ *Anas americana*

希少種

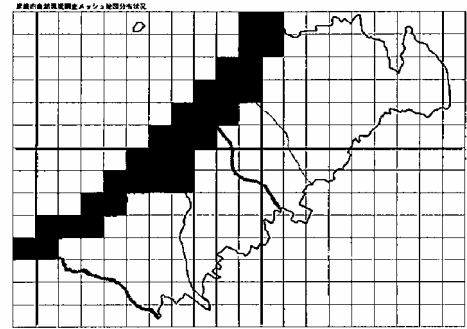
ガンカモ科

滋賀県：希少種 近畿：準絶滅危惧 国：-

形態の特徴 全長約 50cm。雄は頭部が白く、目から後方にかけて緑色の帯が入る。背は灰色で、胸は茶褐色、下尾筒は黒色。雌は全身褐色である。ヒドリガモの雄の頭部は茶褐色で、額から頭頂部は黄白色、雌は灰色味が少なく見える。

生息環境 琵琶湖や内湖、大きな河川の河口などで見られる。

備考 冬鳥



シマアジ *Anas querquedula*

希少種

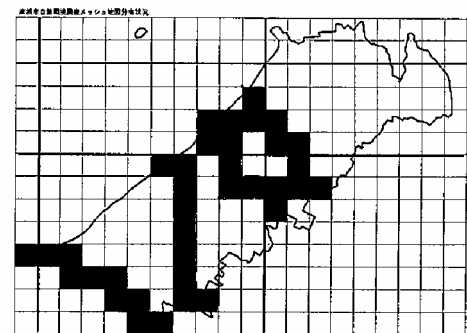
ガンカモ科

滋賀県：希少種 近畿：準絶滅危惧 国：-

形態の特徴 全長約 40cm。小型のカモ類で、雄は灰色の体で顔は赤みのある褐色で白い眉斑がある。雌は顔に白黒の横線があり、嘴の基部に白斑がある。コガモの雌には嘴基部の白斑がない。

生息環境 琵琶湖の浅瀬や河川、水田などで見られる。単独でいることが多い。

備考 旅鳥



ホオジロガモ *Bucephala clangula*

希少種

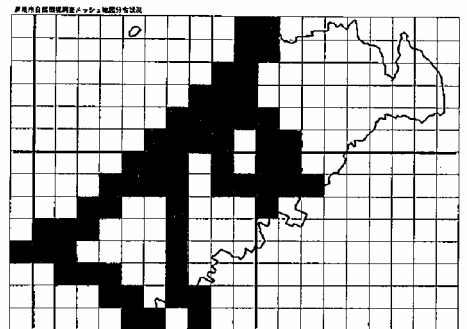
ガンカモ科

滋賀県：希少種 近畿：準絶滅危惧 国：-

形態の特徴 全長約 45cm。雄は胸から腹にかけて白く、頭は緑色で頬に白斑がある。雌の体は灰褐色で、頭は茶褐色で首に白い輪がある。雄雌ともに頭は三角形である。

生息環境 琵琶湖や大きな河川で見られる。

備考 冬鳥



ミコアイサ *Mergus albellus*

希少種

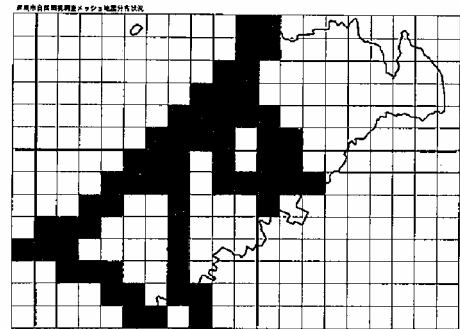
ガンカモ科

滋賀県：希少種 近畿：準絶滅危惧 国：-

形態の特徴 全長約 40cm。雄は大部分が白色で、目の周囲、後頭の冠羽の下、胸に2本の黒色部がある。雌の体は灰色で、頭上は茶色く、ほおが白い。

生息環境 琵琶湖や内湖、河川などで見られる。

備考 冬鳥



ウミアイサ *Mergus serrator*

希少種

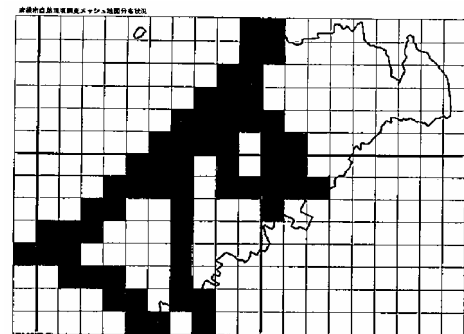
ガンカモ科

滋賀県：希少種 近畿：準絶滅危惧 国：-

形態の特徴 全長約 55cm。雄の頭部は黒緑色で、冠羽をもつ。胸は茶褐色で黒色の縦斑があり、首は白い。雌は茶色の頭と冠羽がある。カワアイサの雄は冠羽がなく、胸も白い。雌は頭部の茶色と首の白色部分がはっきり分かっている。

生息環境 琵琶湖で見られる。

備考 冬鳥



カワアイサ *Mergus merganser*

希少種

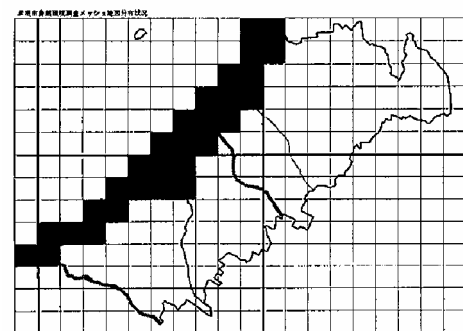
ガンカモ科

滋賀県：希少種 近畿：準絶滅危惧 国：-

形態の特徴 全長約 65cm。雄の頭部は黒緑色で冠羽はない。背は黒く、腹・胸は白い。雌の頭部は茶色で冠羽があり、首の下がはっきり白い。ウミアイサの雄には冠羽があり、胸が茶色である。ウミアイサの雌は頭と胸との境が不明瞭である。

生息環境 琵琶湖や河川河口部で見られる。

備考 冬鳥



ツミ *Accipiter gularis*

希少種

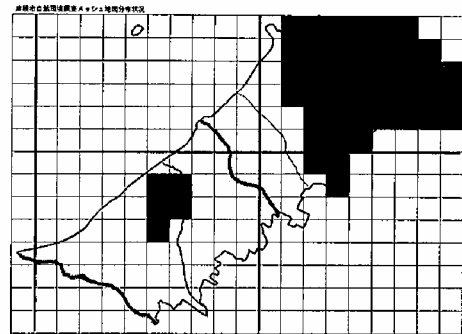
ワシタカ科

滋賀県：希少種 近畿：準絶滅危惧 国：-

形態の特徴 最も小さなタカで、つばさは短く尾は長い。脚は細長い。雄は上面が濃い青灰色で下面是汚白色。胸から脇腹にかけて淡い赤褐色である。雌は上面が濃く、下面是黒褐色の横縞がある。眼の色は雄は暗赤褐色で雌は黄色である。ハイタカは本種より大きく、胸に横斑がある。

生息環境 低い山の林で繁殖する。

備考 夏鳥



ハイタカ *Accipiter nisus*

希少種

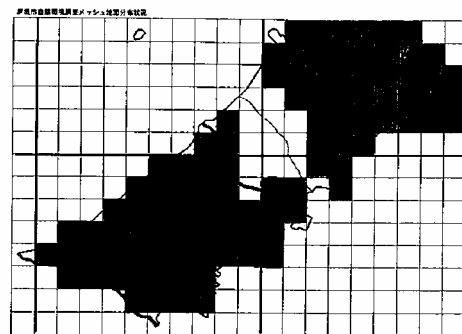
ワシタカ科

滋賀県：希少種 近畿：要注目 国：準絶滅危惧

形態の特徴 雄の上面は暗青灰色で尾羽には数本の黒帯があり、下面是白色に赤褐色の細い横斑がある。雌の上面は灰褐色で下面是白色に褐色の横斑がある。早いはばたきと短い滑空を交互にして、直線状に飛ぶか、はばたかないで輪をえがいて飛ぶこともある。本種はツミよりも大きく、眉斑が目立つ。

生息環境 山地で繁殖し、秋・冬には平地でも見られる。

備考 留鳥



ノスリ *Buteo buteo*

希少種

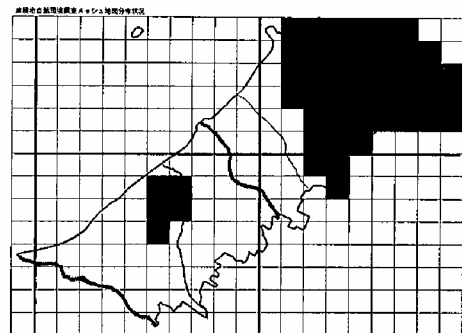
ワシタカ科

滋賀県：希少種 近畿：準絶滅危惧 国：-

形態の特徴 全身が丸みをもったタカで、翼は幅広く、尾羽は短い。上面は暗褐色で、胸は淡色で脇腹は黒褐色。飛行中の翼下面是白いが、一部黒っぽく見える部分がある。

生息環境 山地の林で繁殖し、大木の上や岩棚に巣をつくる。開けた場所（草地、農耕地など）でえさをとる。

備考 留鳥





チゴハヤブサ *Falco subbuteo*  
ハヤブサ科

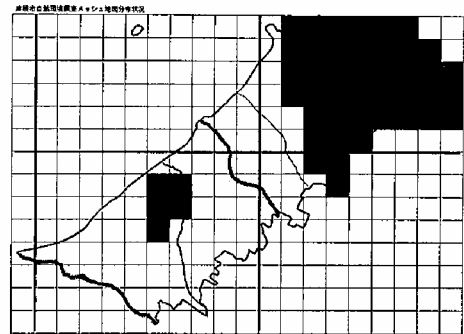
希少種

滋賀県：希少種 近畿：要注目 国：-

形態の特徴 翼は長くて先がとがって見える。頭部の上から背面は青灰黒色である。喉から体の下面は白く、胸と腹に黒い縦斑があり、下腹部は赤褐色となる。ハヤブサは大きく、体の下面に横斑がある。

生息環境 北海道、東北地方の平地の林で繁殖し、秋に本州中部以南に渡る。本市では渡りの時に上空を通過する姿がまれに確認できる。

備考 留鳥



チョウゲンボウ *Falco tinnunculus*  
ハヤブサ科

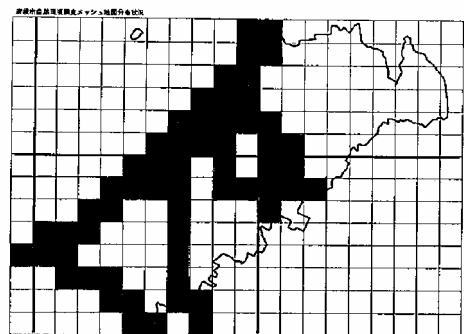
希少種

滋賀県：希少種 近畿：準絶滅危惧 国：-

形態の特徴 翼の先がややとがり尾が長い。雄の頭と尾は青灰色で背は赤褐色である。雌は上面が褐色である。コチョウゲンボウの雄は背が青灰色である。

生息環境 低山や海岸の崖、ビルや橋の隙間で繁殖する。秋から冬にかけて、平地の農耕地や河原などの開けた場所に住む。電柱や木の杭などを見張り場として止まっていることが多く、複雑につばさを動かして空中の一点に停飛することがある。

備考 留鳥



バン *Gallinula chloropus*  
クイナ科

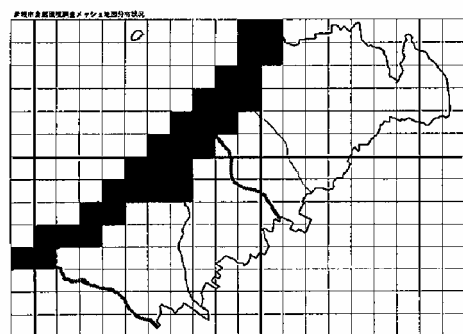
希少種

滋賀県：希少種 近畿：- 国：-

形態の特徴 体全身が黒色で脇と下尾筒に白い部分がある。額が赤く、嘴の先端は黄色である。オオバンは本種より少し大きく、全身黒色であるが、額と嘴が白色である。

生息環境 河口、池沼のヨシ原で繁殖する。

備考 留鳥



イカルチドリ *Charadrius placidus*

希少種

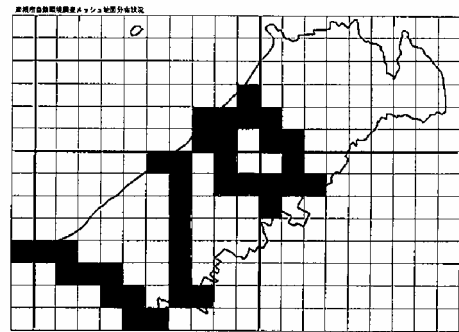
チドリ科

滋賀県：希少種 近畿：準絶滅危惧 国：-

形態の特徴 嘴が細長く、顔の斑紋がやや薄く、目の縁の黄色のリングも淡い。胸に黒い帯があり、脚は淡黄色である。飛ぶと翼に薄い帯が見える。コチドリは本種より少し小さく、顔の斑紋・目の黄色いリングは濃い。

生息環境 川の中流より上の河原や中洲のある場所に生育する。砂礫地に営巣し、小石に似た4個の卵を産む。

備考 留鳥



ムナグロ *Pluvialis dominica*

希少種

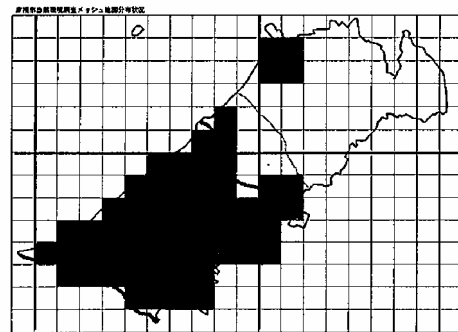
チドリ科

滋賀県：- 近畿：準絶滅危惧 国：-

形態の特徴 顔から腹までの下部分が黒く、その上部に白い縁取りがある。本種は頭から背中にかけて黒と黄褐色の斑模様で、ダイゼンは頭が白く、背中黒と白の斑模様である。

生息環境 農耕地などで見られる。

備考 旅鳥



ダイゼン *Pluvialis squatarola*

希少種

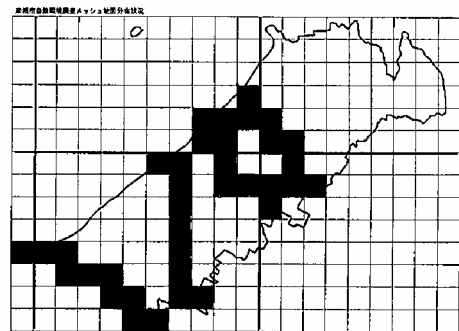
チドリ科

滋賀県：希少種 近畿：絶滅危惧 国：-

形態の特徴 背は白と黒のまだら模様で、夏羽では胸から腹が黒い。腰は白色で、飛ぶと脇の下部が黒い。ムナグロは本種より少し小さく、背面が黄色味を帯びている。

生息環境 旅鳥として春・夏の渡りの時期に見られる。生育地は河口付近の泥地の湿地に限られる。

備考 旅鳥



タゲリ *Vanellus vanellus*

希少種

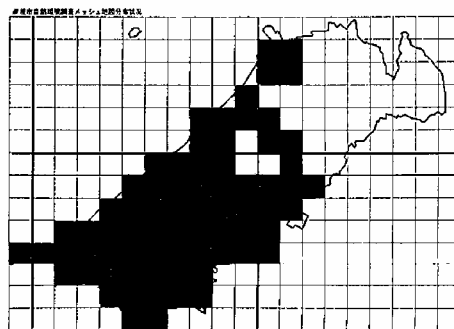
チドリ科

滋賀県：希少種 近畿：準絶滅危惧 国：-

形態の特徴 頭に冠羽があり、喉と腰の白色部分と首部と尾の黒色部分が鮮明で美しい。先が丸い翼でふわふわとはばたいて飛ぶ。

生息環境 水田や湖沼の水辺、河口に生息する。

備考 冬鳥



キョウジョシギ *Arenaria interpres*

希少種

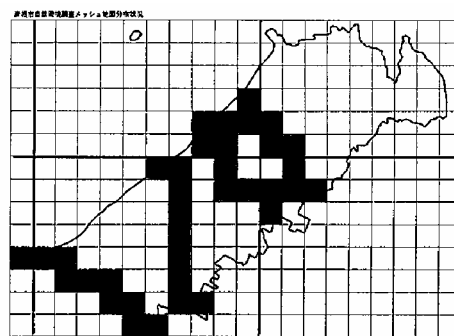
シギ科

滋賀県：- 近畿：準絶滅危惧 国：-

形態の特徴 頭上には白と黒の縦斑がある。額から眼の下、顎線、下喉、胸が黒く、腹は白い。背は茶色に黒色のまだら模様があり、足は橙色である。

生息環境 河川や河口で見られる。

備考 旅鳥



トウネン *Calidris ruficollis*

希少種

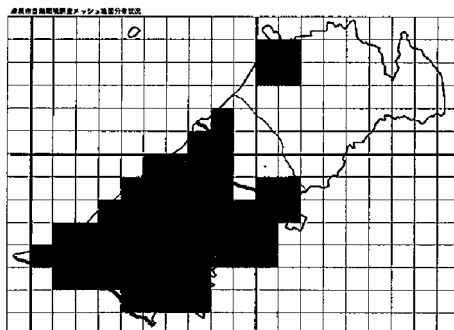
シギ科

滋賀県：希少種 近畿：準絶滅危惧 国：-

形態の特徴 小型のシギで、足が黒い。冬羽の上面は灰褐色であるが、夏羽では頭から胸にかけてと背の一部が赤褐色になる。オジロトウネンは足が黄色く、冬羽の灰色味が強い。ヒバリシギの足も黄色く、茶色味がある。ヘラシギは嘴の先が広い。

生息環境 旅鳥として春と秋に飛来し、渡りの時期に見られる。水田などで生育する。

備考 旅鳥



ヒバリシギ *Calidris subminuta*

希少種

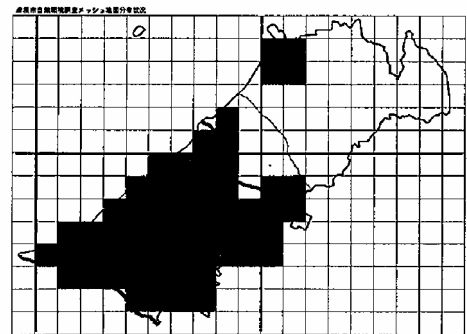
シギ科

滋賀県：希少種 近畿：絶滅危惧 国：-

形態の特徴 小型のシギで冬羽は灰褐色で、夏羽は黄褐色と赤褐色の混ざった色となる。背にV字形の白線があり、目の上に白い眉紋がある。足は黄色。トウネンは足が黒く、嘴が短い。

生息環境 旅鳥として春と秋に飛来し、渡りの時期に見られる。水田などに生育する。

備考 旅鳥



ウズラシギ *Calidris acuminata*

希少種

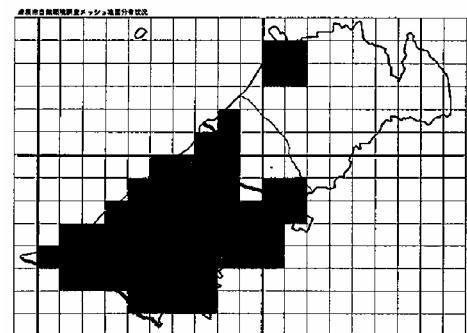
シギ科

滋賀県：希少種 近畿：準絶滅危惧 国：-

形態の特徴 頭から背にかけての上面が赤褐色で、頭頂部が著しい。背にはっきりしたうろこ模様がある。ハマシギは嘴が長く、わずかに下にまがっている。

生息環境 旅鳥として春と秋に飛来し、渡りの時期に見られる。水田などに生育する。

備考 旅鳥



ハマシギ *Calidris alpine*

希少種

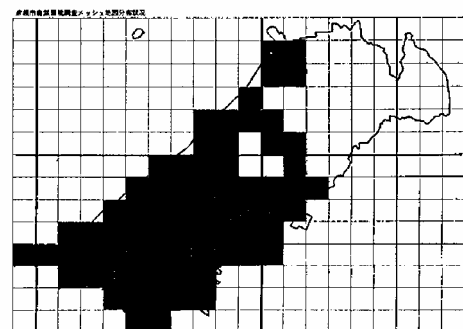
シギ科

滋賀県：- 近畿：準絶滅危惧 国：-

形態の特徴 体上面は赤褐色で黒い斑がある。胸に黒褐色の縦斑があり、腹には大きな黒斑がある。嘴は太い。

生息環境 水田や河川の砂泥地で見られる。

備考 冬鳥



エリマキシギ *Philomachus pugnax*

希少種

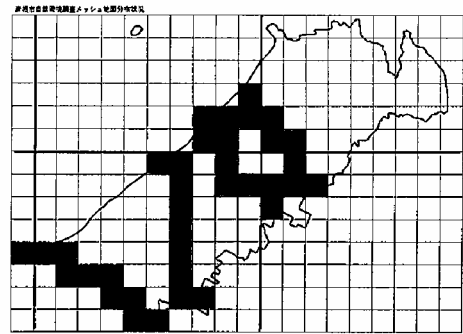
シギ科

滋賀県：希少種 近畿：絶滅危惧 国：-

形態の特徴 全体に灰褐色で背中にうろこ模様がある。翼の羽縁は白い。首に襟巻き状の飾り羽があるが、日本では見られない。

生息環境 河川敷の草原や湿地草原にすむ。

備考 旅鳥



ツルシギ *Tringa erythropus*

希少種

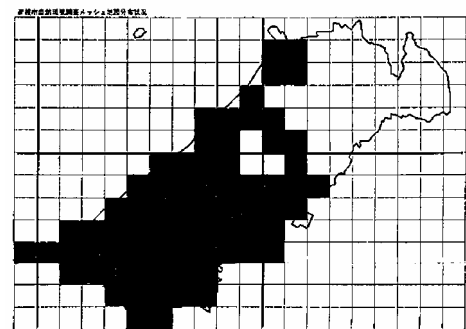
シギ科

滋賀県：希少種 近畿：準絶滅危惧 国：-

形態の特徴 嘴は細くて長く、全体に黒いが下嘴の基部が赤い。足も長くて赤い。夏羽では体が黒くなり、冬羽では上面が灰褐色で下面は白い。飛ぶと背から腰が白い。アカアシシギは嘴上面基部も赤く、つばさの次列風切が白い。

生息環境 旅鳥として飛来し、渡りの時期に見られる。水田や湿地で生育する。

備考 旅鳥



アオアシシギ *Tringa nebularia*

希少種

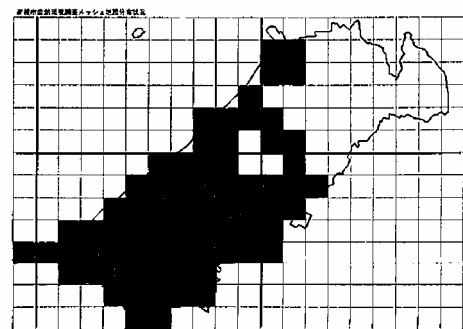
シギ科

滋賀県：希少種 近畿：準絶滅危惧 国：-

形態の特徴 嘴が灰黒色で長く、やや上に反り、足は長くて緑青色。上面は灰褐色で下面は白い。飛ぶと腰の部分が白く見える。

生息環境 旅鳥として飛来し、渡りの時期に見られる。水田や湿地で生育する。

備考 旅鳥



クサシギ *Tringa ochropus*

希少種

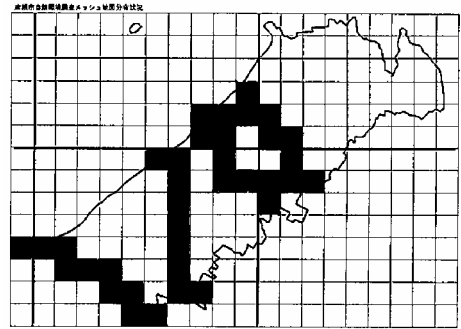
シギ科

滋賀県：希少種 近畿：準絶滅危惧 国：-

形態の特徴 上面が灰黒色で腹や腰、尾は白く、尾の先端に縞模様がある。白い眉斑は目の上まである。翼は上面も下面も黒い。イソシギは少し小さく、腰は白くなく、翼に白い線がでる。タカブシギは翼の裏が白い。

生息環境 旅鳥として飛来し、渡りの時期に見られる。一部冬にも見られる。水田や河川、湿地で生育する。

備考 旅鳥



タカブシギ *Tringa glareola*

希少種

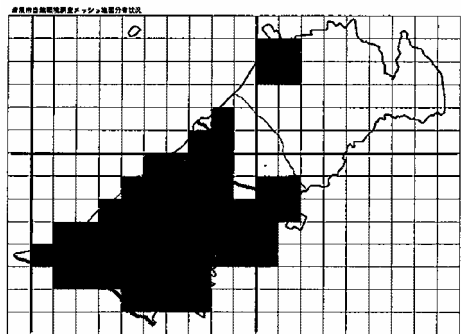
シギ科

滋賀県：希少種 近畿：準絶滅危惧 国：-

形態の特徴 上面は黒く、白い斑点があり、腹、腰、尾は白い。眉斑も白い。翼の裏は白っぽく、足は黄緑色。クサシギは翼の裏が黒っぽい。

生息環境 旅鳥として飛来し、渡りの時期に見られる。一部冬にも見られる。水田や河川、湿地で生育する。

備考 旅鳥



キアシシギ *Tringa brevipes*

希少種

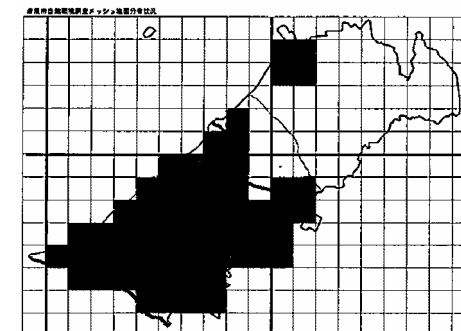
シギ科

滋賀県：希少種 近畿：準絶滅危惧 国：-

形態の特徴 上面は濃い灰色で翼にも腰にも白色はない。飛ぶとわき羽が暗色。夏羽では胸からわき腹にかけて細かい黄斑がたくさんある。足は黄色い。メリケンキアシシギの夏羽では下面のしま模様が腹から尻まで明瞭である。

生息環境 旅鳥として飛来し、渡りの時期に見られる。水田や湿地で生育する。

備考 旅鳥



イソシギ *Tringa hypoleucos*

希少種

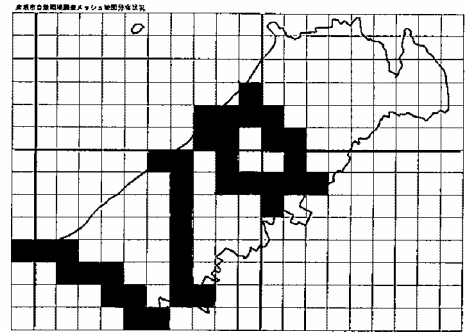
シギ科

滋賀県：希少種 近畿：絶滅危惧 国：-

形態の特徴 背が灰黒色で腹部は白色であり、白色部分は肩のつけ根にくい込んでいる。飛翔時、翼の白い帯びが目立つ。歩くときは尾を上下に振る。

生息環境 湖岸や河川の中・下流、水田などで見られる。

備考 留鳥



ハウロクシギ *Numenius madagascariensis*

希少種

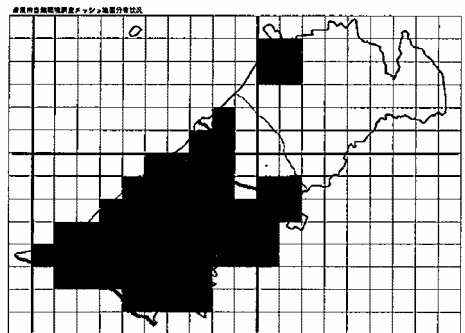
シギ科

滋賀県：希少種 近畿：絶滅危惧 国：絶滅危惧 類

形態の特徴 くちばしが長く下に曲がっている。全体に黄色がかった淡褐色で黒褐色の斑がある。つばさの裏や腰が白い。ダイシャクシギは全体に色が淡く、腹部、腰が白い。チュウシャクシギは体が小さく、嘴も短い。

生息環境 旅鳥として飛来し、渡りの時期に見られる。河口、水田や湿地で生育する。

備考 旅鳥



チュウシャクシギ *Numenius phaeopus*

希少種

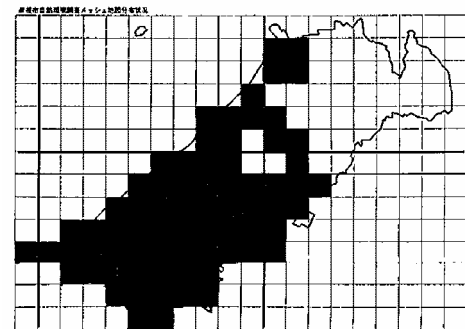
シギ科

滋賀県：希少種 近畿：準絶滅危惧 国：-

形態の特徴 嘴が長く、下に曲がっている。体は褐色で、黒い頭側線がある。ダイシヨクシギやハウロクシギは体が大きく、嘴も長い。

生息環境 旅鳥として飛来し、渡りの時期に見られる。河口、水田や湿地で生育する。

備考 旅鳥



ヤマシギ *Scolopax rusticola*  
シギ科

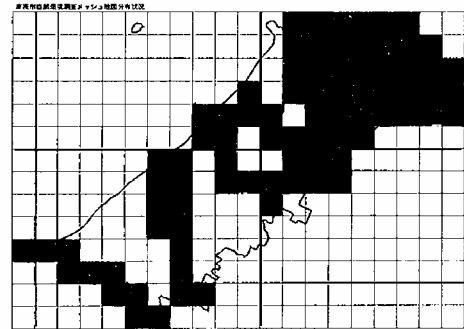
希少種

滋賀県：希少種 近畿：準絶滅危惧 国：-

形態の特徴 体がずんぐりしており、嘴が長い。後頭部に黒く太い横斑があり、頬にも黒斑がある。上面は赤褐色に黒色と灰色の模様がある。

生息環境 低地や低山帯の林や河川敷などで生息している。

備考 留鳥



タシギ *Gallinago gallinago*  
シギ科

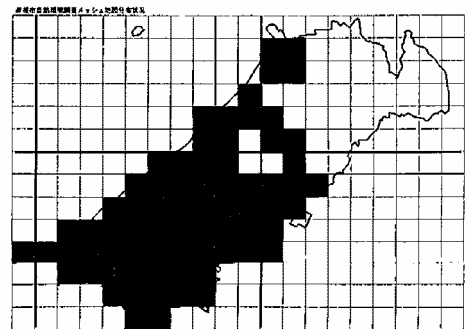
希少種

滋賀県：希少種 近畿：準絶滅危惧 国：-

形態の特徴 まっすぐで長い嘴を持ち、背に淡黄色の縦縞がある。次列風切羽の先が白い。オオジシギの次列風切羽の先は白くない。

生息環境 水田や湿地などに飛来し、日中は草のかげでじっとして、夕方から活動する。

備考 冬鳥



アオバト *Sphenurus sieboldii*  
ハト科

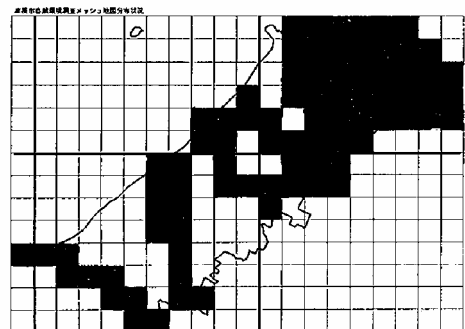
希少種

滋賀県：希少種 近畿：要注目 国：-

形態の特徴 上面が暗緑色で顔から胸にかけて明るい黄緑色のハトである。腹は白く、嘴は青灰色で足は赤紫色。雄は翼の上面の雨覆が赤褐色である。

生息環境 丘陵地から低山地の森林、特に広葉樹林に生息している。

備考 留鳥





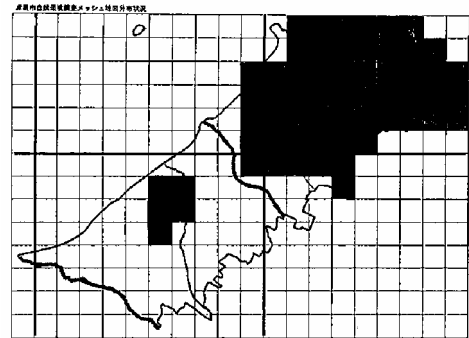
カッコウ *Cuculus canorus*

希少種

ホトトギス科

滋賀県：希少種 近畿：準絶滅危惧 国：-

形態の特徴 尾が長く、翼の先は尖っている。全体に青灰色で腹部は白く、黒く細い横縞がある。自分では巣を作らず、他の鳥の巣に卵を産みこみ、その鳥にひなを育てさせる（托卵習性）。育て親にはモズ、ホオジロ、ノビタキ、オオヨシキリなど 20 種以上いる。ツツドリは下面の横縞が太くて粗く、ホトトギスは少し小さく、横縞も太くて少ない。



生息環境 開けたところを好み、明るい林や草原に生息する。ヨシ原でも生育していたこともある。

備考 夏鳥

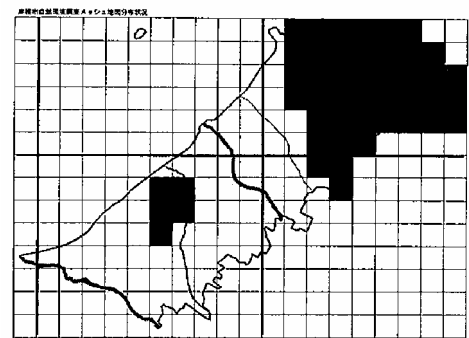
ツツドリ *Cuculus saturatus*

希少種

ホトトギス科

滋賀県：希少種 近畿：準絶滅危惧 国：-

形態の特徴 尾が長く、全体に青灰色で腹部は白く、黒く太い横縞がある。主にセンダイムシクイに托卵し、自分ではひなを育てない。雌には全身が赤褐色をした赤色型と呼ばれる個体もいる。カッコウは下面の横縞が細く、ホトトギスは少し小さく、横縞も少ない。



生息環境 低山帯の広葉樹林に生息する。

備考 夏鳥

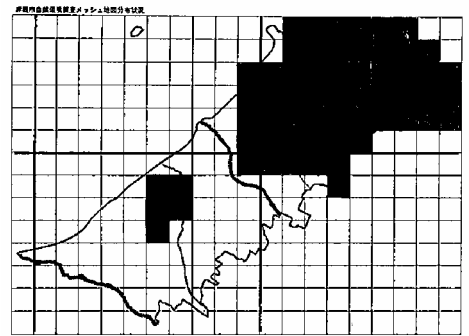
ホトトギス *Cuculus poliocephalus*

希少種

ホトトギス科

滋賀県：希少種 近畿：準絶滅危惧 国：-

形態の特徴 全体に青灰色で腹部は白く、黒く太い横縞があるが少ない。主にウグイスに托卵し、自分ではひなを育てない。カッコウは下面の横縞が細く、ツツドリは横縞が多い。



生息環境 低山から山地の笹藪のある林に生息する。

備考 夏鳥

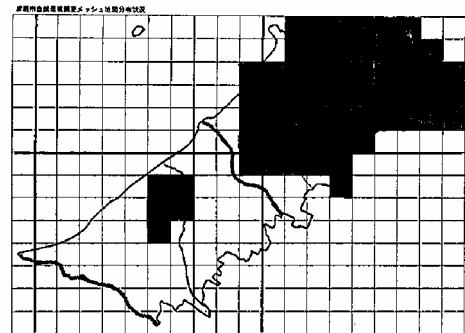
アオバズク *Ninox scutulata*

希少種

フクロウ科

滋賀県：希少種 近畿：準絶滅危惧 国：-

- 形態の特徴 耳がなく、頭がまるく、目は黄色である。上面は黒褐色で下面は黒いたてすじがある。フクロウは大きく、目が黒い。
- 生息環境 平地から山地の林に渡来し、大木のある神社や寺にもいることがある。
- 備考 夏鳥



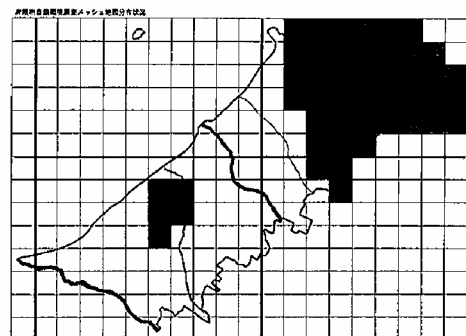
フクロウ *Strix uralensis*

希少種

フクロウ科

滋賀県：- 近畿：準絶滅危惧 国：-

- 形態の特徴 顔が扁平で両目が顔の前面に正対している。目が大きい。腹に縦縞がある。嘴は鋭く曲がり、尖った鋭い爪をもつ。夜行性である。
- 生息環境 平地や山地の林、神社や寺の大木のあるところにすむ。
- 備考 留鳥



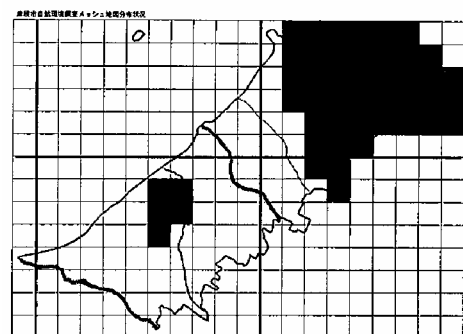
アマツバメ *Apus pacificus*

希少種

アマツバメ科

滋賀県：希少種 近畿：要注目 国：-

- 形態の特徴 上面は黒色で腰は白色である。のどは灰白色で細い縦斑がある。胸から腹にかけて黒褐色で白っぽい横斑がある。尾は開くと燕尾だが、閉じていると細長く見える。ハリオアマツバメは大きく、下尾筒が白く、尾が角張っている。
- 生息環境 山地などで見られる。
- 備考 旅鳥



カワセミ *Alcedo atthis*

希少種

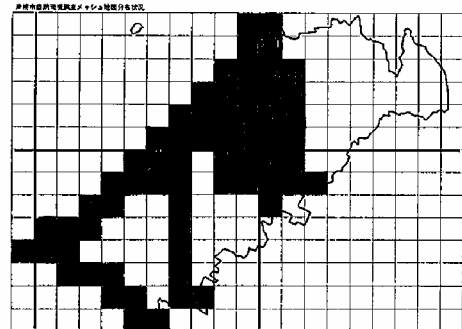
カワセミ科

滋賀県：希少種 近畿：準絶滅危惧 国：-

形態の特徴 ひすい色の上面と橙色の下面をもつ。のどと首の側面が白い。体に比べ嘴が長く、雄は黒いが雌は下嘴が赤っぽい。

生息環境 平地から山地の川、池沼、湖岸で見られる。

備考 留鳥



アリスイ *Jynx torquilla*

希少種

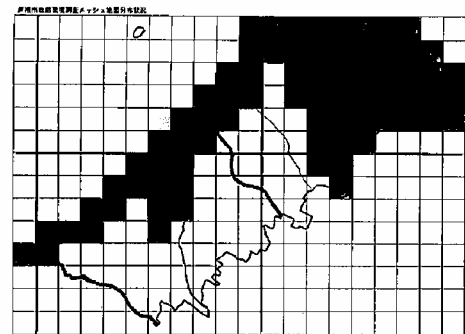
キツキ科

滋賀県：希少種 近畿：準絶滅危惧 国：-

形態の特徴 全身灰褐色で頭から背にかけて黒い線がある。キツキ科の鳥だが木の幹に縦にとまらないで、ふつうの鳥のように横枝にとまる。

生息環境 内湖や河口周辺のヨシ原などで越冬する。

備考 夏鳥



アオゲラ *Picus awokera*

希少種

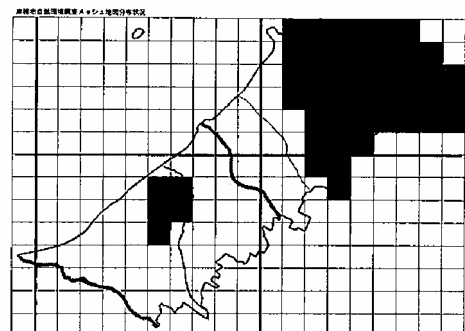
キツキ科

滋賀県：希少種 近畿：準絶滅危惧 国：-

形態の特徴 全身緑色で腹部は白く、黒い横斑がある。頭と嘴の根もとが赤い。ヤマゲラには腹部に黒色横斑がない。

生息環境 山地の林に生息する。

備考 留鳥



アカゲラ *Dendrocopos major*

希少種

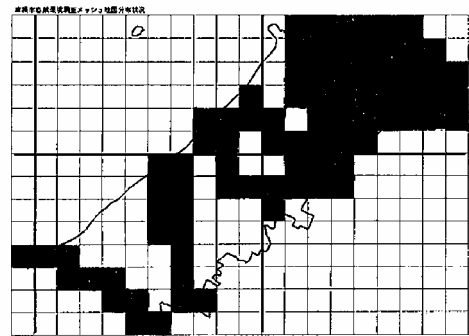
キツキ科

滋賀県：希少種 近畿：準絶滅危惧 国：-

形態の特徴 頭から背は黒く翼には白斑があり、特に背に大きな白斑がある。雄は後頭部と下腹部、雌は下腹部のみ赤い。オオアカゲラは腹部に黒い縦すじがある。

生息環境 低山から山地に生息する。冬には平地に降りてくることも多い。

備考 留鳥



ビンズイ *Anthus hodgsoni*

希少種

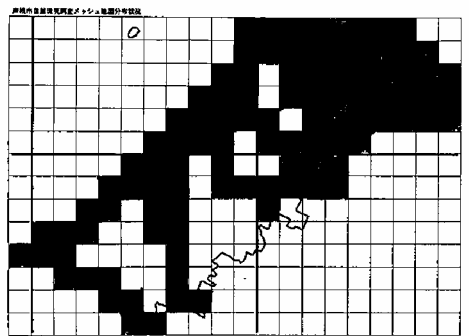
セキレイ科

滋賀県：希少種 近畿：要注目 国：-

形態の特徴 上面は緑褐色で下面には明瞭な黒い縦すじがある。タヒバリは緑色味がなく、水田や川原などの開けた場所を好む。

生息環境 山地の明るい林や林縁に生息する。

備考 冬鳥



タヒバリ *Anthus spinoletta*

希少種

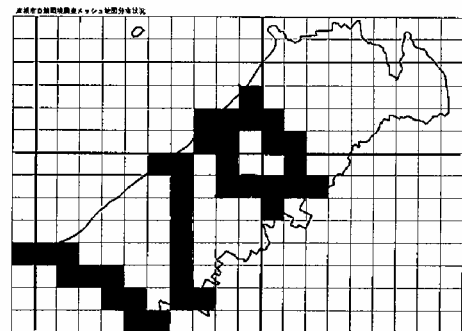
セキレイ科

滋賀県：希少種 近畿：- 国：-

形態の特徴 全身薄茶色で黒い縦すじは不明瞭である。ビンズイは上面の緑色味が強く、林の近くに生息する。ムネアカタヒバリは背の縦すじが明瞭で、夏羽では顔や胸が濃い赤褐色になる。

生息環境 農耕地や河川、湖岸などの水辺、乾いた畑地など幅広く生息する。

備考 冬鳥



サンショウクイ *Pericrocotus divaricatus*

希少種

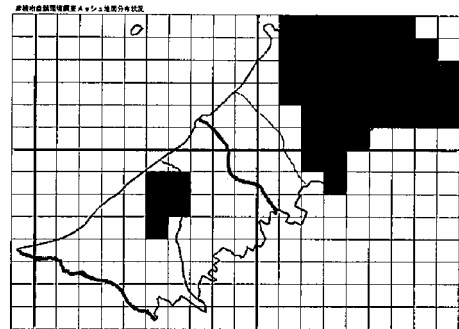
サンショウクイ科

滋賀県：希少種 近畿：準絶滅危惧 国：絶滅危惧 類

形態の特徴 体が細く、尾が長い。背は灰色で額が白く、頭頂から後頸、過眼線が黒く、下面は白い。

生息環境 丘陵地から山地の林に生息する。

備考 夏鳥



カワガラス *Cinclus pallasii*

希少種

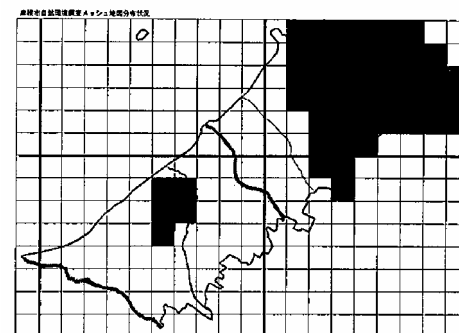
カワガラス科

滋賀県：希少種 近畿：準絶滅危惧 国：-

形態の特徴 全身黒褐色で体は太短く尾は短い。足は銀白色である。川底を歩いたり水中を泳いだりできる。

生息環境 山地の溪流に生息し、水辺から離れることはほとんどない。

備考 留鳥



ミソサザイ *Troglodytes troglodytes*

希少種

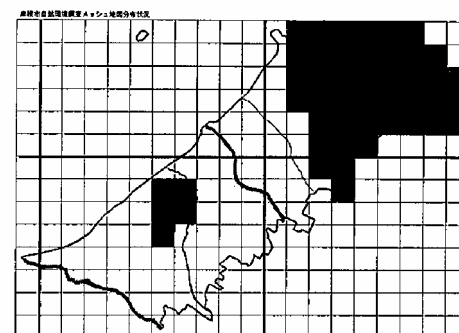
ミソサザイ科

滋賀県：希少種 近畿：準絶滅危惧 国：-

形態の特徴 全身こげ茶色で黒と白のこまかい点々がある。とても小さな鳥。尾をいつも上げている。

生息環境 山地の湿った斜面に生息する。

備考 留鳥



コルリ *Luscinia cyane*

希少種

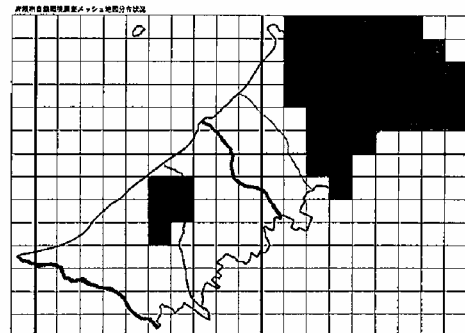
ヒタキ科

滋賀県： - 近畿：準絶滅危惧 国： -

形態の特徴 上面は青く、下面は白い。オオルリは頬から胸にかけて黒い。

生息環境 山地の落葉広葉樹林に渡来する。低木の多い場所を好む。

備考 夏鳥



ルリビタキ *Tarsiger cyanurus*

希少種

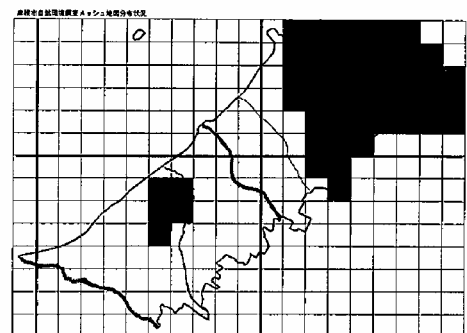
ヒタキ科

滋賀県：希少種 近畿：準絶滅危惧 国： -

形態の特徴 雄は頭から体の上面が青く、眉斑とのは白。尾も青く、下面は灰白色で脇は橙色。雌の上面は茶褐色で脇が橙色で、尾が青い。コルリの脇は橙色でない。オオルリの雄はのどから胸が黒く、雌では脇も尾も褐色である。

生息環境 高い山で繁殖し、冬期は山麓や丘陵や暖地に移動する。木の茂った公園や緑地にも来る。

備考 冬鳥



イソヒヨドリ *Monticola solitarius*

希少種

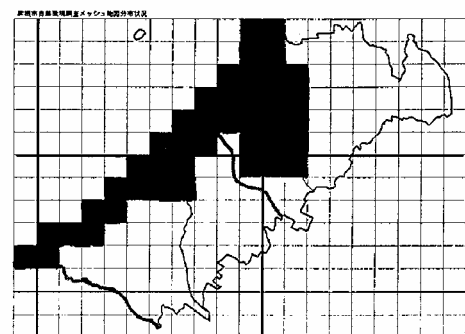
ヒタキ科

滋賀県： - 近畿：要注目 国： -

形態の特徴 雄は頭部から胸までが青い。上面も青く、下面は赤褐色である。翼は黒味を帯びる。雌は上面が灰褐色で青味を帯びる。うろこ状の模様がある。

生息環境 琵琶湖岸の他、市街地でも見られる。

備考 漂鳥



クロツグミ *Turdus cardis*

希少種

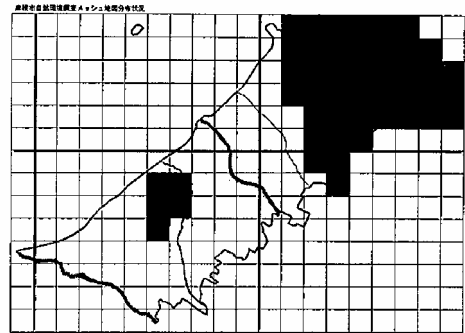
ヒタキ科

滋賀県：希少種 近畿：準絶滅危惧 国：-

形態の特徴 雄は全体が黒色で下面が白地に黒の縦斑があり、嘴が黄色い。雌は褐色で下面は白地に黒と橙色の斑点がある。マミジロの雄は全体が黒く、眉だけが白く、雌は下面がうろこ状の模様である。

生息環境 低山地の森林で生息する。

備考 夏鳥



ヤブサメ *Urosphena squameiceps*

希少種

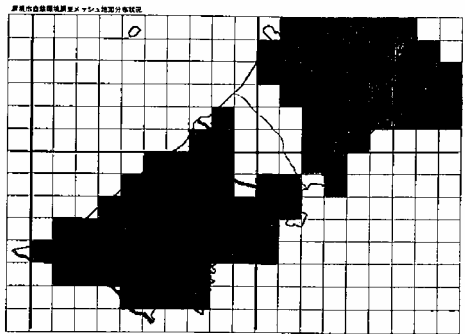
ヒタキ科

滋賀県：希少種 近畿：- 国：-

形態の特徴 全身が褐色で下面は淡色。白色の眉斑がある。オムシクイ類とよく似ているため識別が難しい。「シーシーシーシー」と虫の音に似た声で囀る。

生息環境 低山地の森林で生息する。

備考 夏鳥



オオヨシキリ *Acrocephalus arundinaceus*

希少種

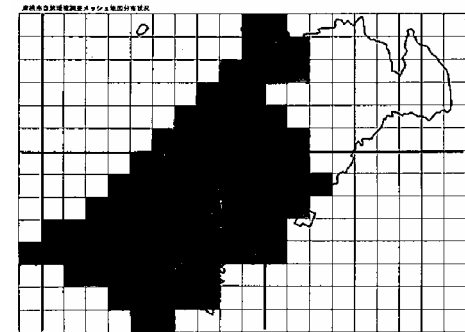
ヒタキ科

滋賀県：希少種 近畿：準絶滅危惧 国：-

形態の特徴 体の上面は黄褐色で下面は淡い。白い眉斑をもつ。ヨシの茎に直立し、「ギョギョシ、ギョギョシ」と鳴く。コヨシキリは小さくて、白い眉斑の上に黒い線がある。センニュウ類とよく似ているが鳴き声で区別できる。

生息環境 湖岸や内湖、河川のヨシ原に生息する。

備考 夏鳥



メボソムシクイ *Phylloscopus borealis*

希少種

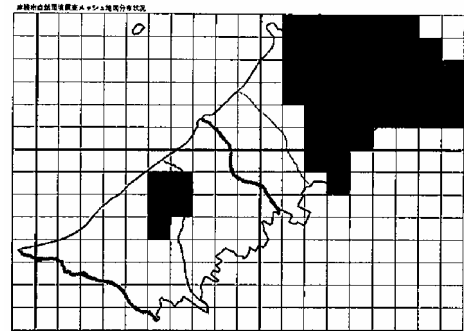
ヒタキ科

滋賀県：希少種 近畿：準絶滅危惧 国：-

形態の特徴 上面は緑褐色で下面は淡黄褐色である。白色の明瞭な眉斑がある。「チョリチョコ」と鳴く。ムシクイ類はよく似ているため識別が難しいが、囀りには特徴があるため、判別できる。

生息環境 低地や低山帯の林で見られる。

備考 旅鳥



エゾムシクイ *Phylloscopus tenellipes*

希少種

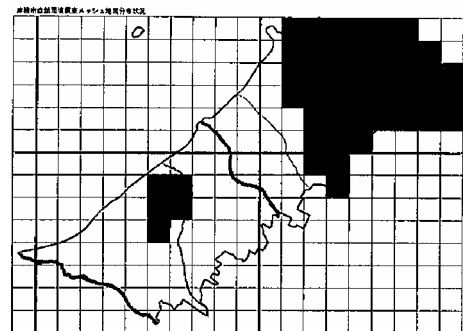
ヒタキ科

滋賀県：希少種 近畿：準絶滅危惧 国：-

形態の特徴 上面は褐色味が強く、下面は汚白色で灰白色の眉斑をもつ。「ヒーツーキー」と鳴く。ムシクイ類はよく似ているため識別が難しいが、囀りには特徴があるため、判別できる。

生息環境 樹林の下枝を好み、明るい場所に出ることは少ない。

備考 旅鳥



センダイムシクイ *Phylloscopus coronatus*

希少種

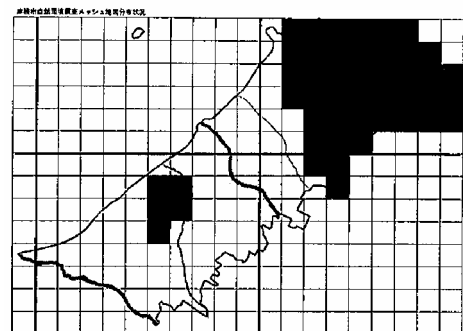
ヒタキ科

滋賀県：希少種 近畿：準絶滅危惧 国：-

形態の特徴 上面は緑色味が強く、淡い頭中央線がある。下面は汚白色で明瞭な眉斑を持つ。「チヨチヨビー」と鳴く。ムシクイ類はよく似ているため識別が難しいが、囀りには特徴があるため、判別できる。

生息環境 低山帯の森林で生息する。

備考 夏鳥





セツカ *Cisticola juncidis*

希少種

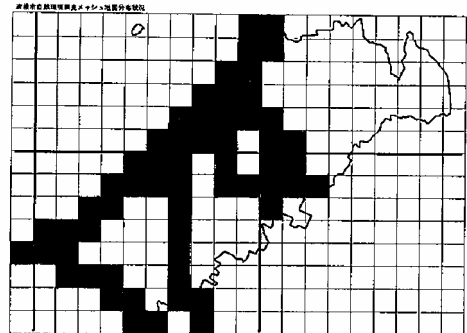
ヒタキ科

滋賀県：希少種 近畿：要注目 国：-

形態の特徴 上面は黄褐色で背に黒いすじがある。尾はくさび型で先が白い。

生息環境 河川の土手や水田畦にある草原などに生息している。

備考 留鳥



キビタキ *Ficedula narcissina*

希少種

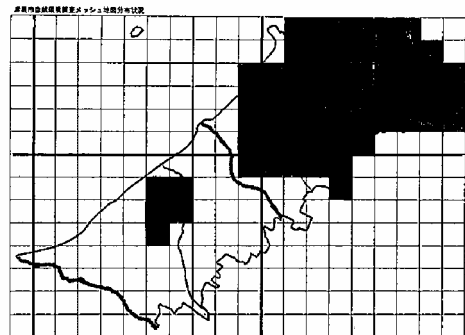
ヒタキ科

滋賀県：希少種 近畿：準絶滅危惧 国：-

形態の特徴 雄の上面は黒色で、眉斑、腰が黄色く、翼に大きな白斑がある。下面是喉から腹部が橙色から黄色で、下腹は白色。雌は全体に緑褐色である。マミジロキビタキは眉斑が白色で腹から下腹まで黄色い。ムギマキは眉斑が白く、下面是橙色である。

生息環境 低山から山地にかけて生育し、渡りの時は市街地でも見られる。

備考 夏鳥



オオルリ *Cyanoptila cyanomelana*

希少種

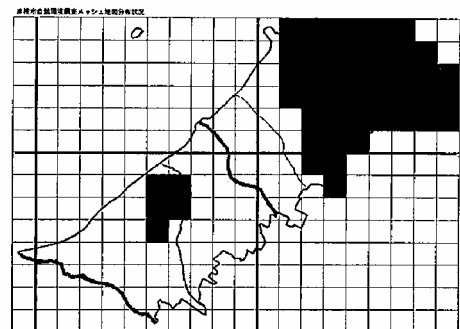
ヒタキ科

滋賀県：希少種 近畿：準絶滅危惧 国：-

形態の特徴 雄の上面は青色で、喉は黒く、腹は白い。尾のつけ根に白斑がある。雌は茶褐色で腹が白い。コルリの雄は喉が白い。ルリビタキの雄は眉と喉が白く、わき腹が橙色。

生息環境 山麓から低山帯の渓谷に面した樹林に生息する。

備考 夏鳥



サメビタキ *Muscicapa sibirica*

希少種

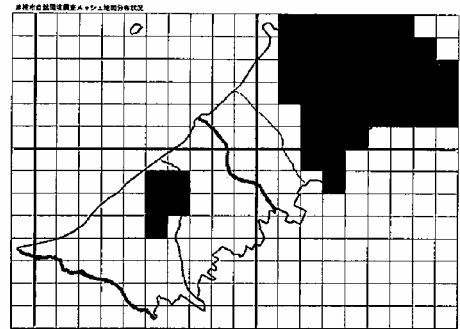
ヒタキ科

滋賀県：希少種 近畿：要注目 国：-

形態の特徴 全身が灰褐色で喉と腹が汚白色である。コサメビタキは少し小さく、胸、腹が淡灰褐色である。エゾビタキは胸から腹部に灰褐色の縦斑がある。

生息環境 渡りの時期に山麓から低山帯の森林を通過する。

備考 夏鳥



エゾビタキ *Muscicapa griseisticta*

希少種

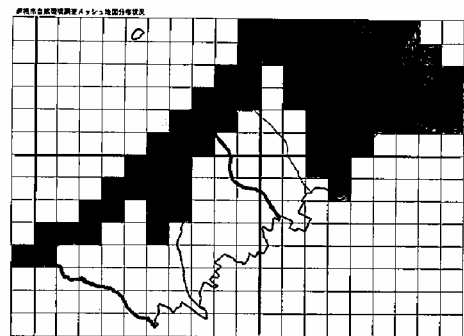
ヒタキ科

滋賀県：- 近畿：準絶滅危惧 国：-

形態の特徴 上面は灰褐色で、頬と顎の間にある線が明瞭である。下面は白く、胸から腹に灰褐色の縦斑がある。

生息環境 低地や平地の林で見られる。

備考 旅鳥



コサメビタキ *Muscicapa latirostris*

希少種

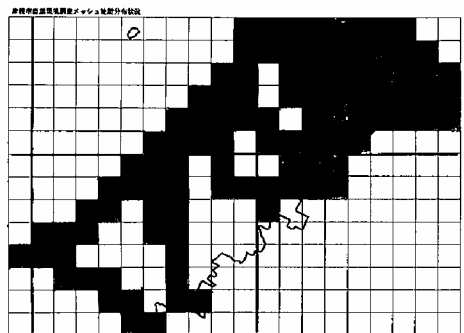
ヒタキ科

滋賀県：希少種 近畿：要注目 国：-

形態の特徴 上面は灰褐色で下面はやや白っぽい。目の周りは白い。サメビタキは胸から脇が灰褐色である。エゾビタキは腹に縦すじがある。

生息環境 山麓から低山帯の広葉樹林で生息している。

備考 夏鳥



サンコウチョウ *Terpsiphone atrocaudata*

希少種

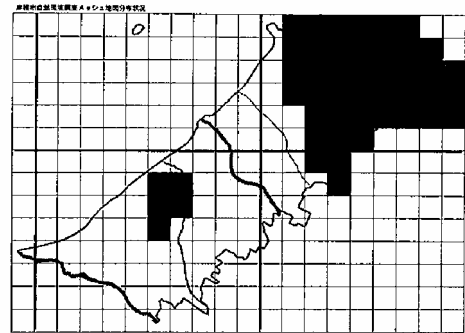
ヒタキ科

滋賀県：希少種 近畿：準絶滅危惧 国：-

形態の特徴 尾が長く、特に雄の尾羽は 30cm を越えることもある。頭部から胸は黒く、腹は白い。背は赤褐色である。目の周りと嘴は青い。

生息環境 平地から低い山地に生息する。

備考 夏鳥



コガラ *Parus montanus*

希少種

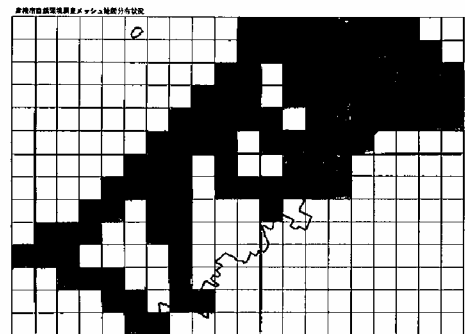
シジュウカラ科

滋賀県：希少種 近畿：要注目 国：-

形態の特徴 頭は光沢のない黒色で、のども黒い。背は灰色で、つばさに白線がなく、下面は白い。シジュウカラは喉から腹部の中央部にかけてネクタイのような黒い筋がある。ヒガラは頭部に冠羽があり、のどの黒色部が大きく、つばさに 2 白線がある。

生息環境 山岳地帯の広葉樹林の多い森林に生息している。

備考 留鳥



ミヤマホオジロ *Emberiza elegans*

希少種

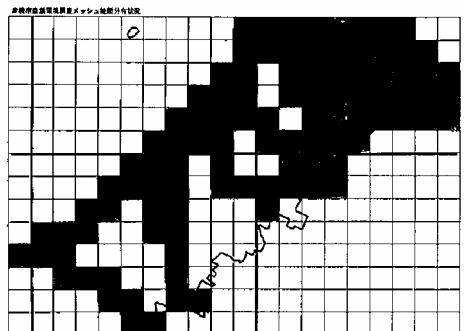
ホオジロ科

滋賀県：希少種 近畿：準絶滅危惧 国：-

形態の特徴 頭に冠羽がある。雄は目から頬にかけてと胸の部分が黒く、眉斑とのは黄色い。雌の眉斑とのは黄褐色である。カシカラダは冠羽をもつが、眉斑や喉は黄色くない。

生息環境 人里近くの山麓や社寺林などで見られる。

備考 冬鳥



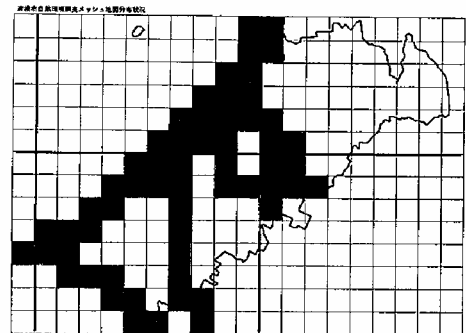
オオジュリン *Emberiza schoeniclus*

希少種

ホオジロ科

滋賀県：希少種 近畿：- 国：-

形態の特徴 雄の夏羽は頭部と喉が黒く、頬に白線がでて、翼は赤褐色で黒い斑がある。雌は頭上から背にかけて淡褐色で黒い筋がでる。頬は褐色で眉線と頬線の色は薄くなる。腰は灰色となる。雄も秋、冬には雌のようになる。コジュリンの腰は赤茶色で、雌の胸に黒いすじはなく、夏羽では雄は頬も黒い。



生息環境 湖岸や河岸のヨシ原に生息する。

備考 留鳥

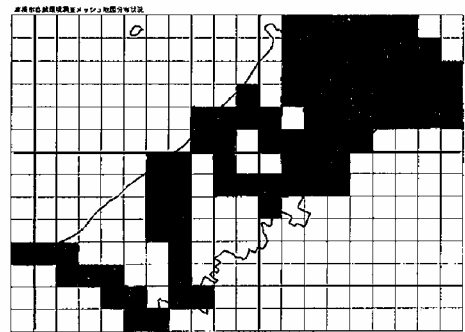
ベニマシコ *Uragus sibiricus*

希少種

アトリ科

滋賀県：希少種 近畿：要注目 国：-

形態の特徴 尾が長く、外側が白い。翼に2本の白帯がある。雄は全体に紅色がかった褐色で胸、額、腰が赤く、頭とのが白い。雌は褐色の体に黒い縦すじがある。オオマシコは尾の外側が白くない。



生息環境 広葉樹林、ヤブ、草地、ヨシ原などに生息する。

備考 冬鳥

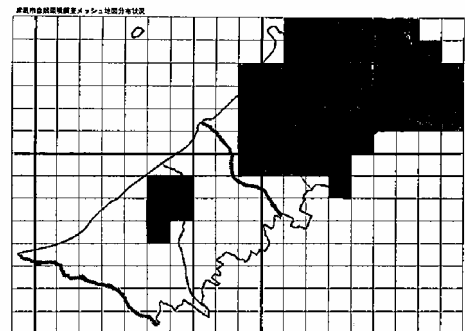
ウソ *Pyrrhula pyrrhula*

希少種

アトリ科

滋賀県：希少種 近畿：要注目 国：-

形態の特徴 頭とつばさと尾は黒く、腰は白い。雄の体は灰色で、頬が赤い。雌の体は褐色で、頬は赤くない。シメは嘴が大きく、全体に茶色く、頭は黒くない。イカル、コイカルは嘴が黄色い。



生息環境 落葉広葉樹林や針広混交林などに生息する。

備考 冬鳥

シメ *Coccothraustes coccothraustes*

希少種

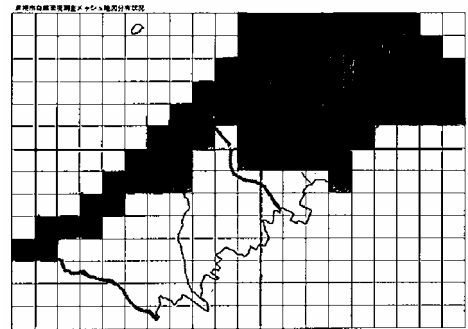
アトリ科

滋賀県：希少種 近畿：要注目 国：-

形態の特徴 嘴が太く、体は全体に茶色っぽい色をしている。目先とのどが黒い。飛ぶと翼と尾の先に白い波紋がでる。イカルは体全体が灰色で、嘴が黄色い。

生息環境 落葉広葉樹や平地に生息し、雑木林や公園の明るい林などでも見られる。

備考 冬鳥



コムクドリ *Sturnus philippensis*

希少種

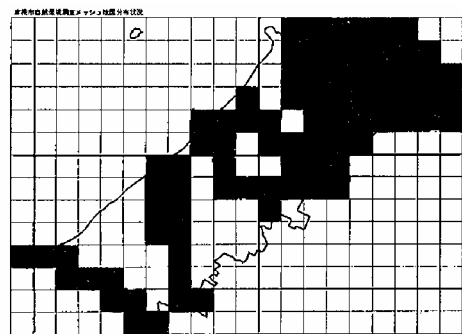
ムクドリ科

滋賀県：- 近畿：準絶滅危惧 国：-

形態の特徴 頭から胸にかけて淡い灰白色で、頬に赤褐色斑がある。背、翼は黒色で、翼に白い帯がある。

生息環境 山地や河川敷の明るい林に生息する。

備考 夏鳥



カイツブリ *Tachybaptus ruficollis*

要注目種

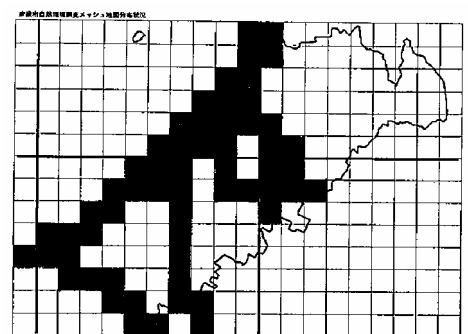
カイツブリ科

滋賀県：その他重要種 近畿：- 国：-

形態の特徴 全長約 25cm。全身茶褐色の丸みを帯びた体型。夏羽は黒褐色で顔から首にかけて赤褐色になる。小魚や水生生物を餌とし、もぐって魚をとる。ハジロカイツブリはカイツブリより大きく首が長めである。

生息環境 湖沼や河川に生息する。ヨシなどの植物や杭を支えにして、水上に巣をつくる。市内でも湖岸や内湖、河川等多くの場所で見られる。

備考 県鳥。古くから鳩（にお）と呼ばれ、水面に作られた巣は「鳩の浮巢」として知られている。留鳥



オオミズナギドリ *Calonectris leucomelas*  
ミズナギドリ科

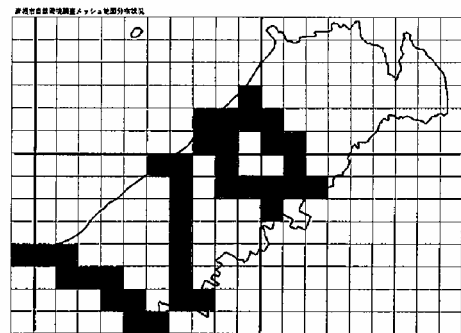
要注目種

滋賀県： - 近畿：要注目 国： -

形態の特徴 上面は黒褐色で背の羽縁は淡色である。  
下面は白く目立つ。頭部から横頸も白色  
で黒褐色の斑がある。嘴の先は下に曲がり、  
淡色である。

生息環境 日本近海の島（京都府冠島など）で繁殖し、  
その周辺の海にすむ。

備考 留鳥



コジュケイ *Bambusicola thoracica*  
キジ科

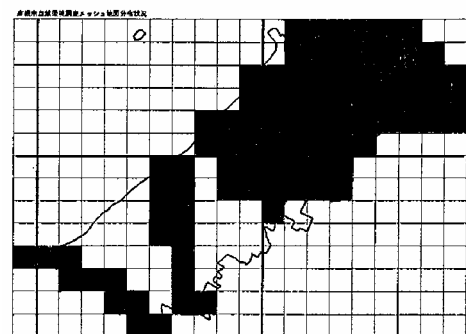
要注目種

滋賀県：その他重要種 近畿： - 国： -

形態の特徴 体全体が茶褐色でふっくらしている。の  
どと尾が赤味を帯びている。4月～7月  
の繁殖期には「ちょっとこい」と聞こえ  
る鳴き声をさせる。

生息環境 降雪の少ない地域の平地のやぶの繁った  
雑木林などに生育し、巣をやぶ蔭の地上  
に枯草を集めてつくる。

備考 留鳥。中国南部原産の外来種で大正時代に  
放鳥されたものが自然繁殖して広がった。



ヤマドリ *Syrnaticus soemmerringii*  
キジ科

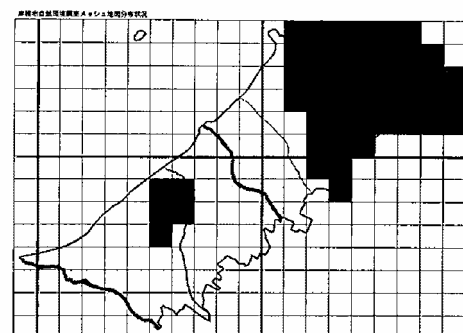
要注目種

滋賀県：その他重要種 近畿： - 国： -

形態の特徴 全身が赤茶色をしており、尾が長い。キ  
ジは首が藍色で、翼の基部と腰が灰青色  
である。

生息環境 山地の斜面のある林の地上に住み、特に  
沢筋などの草本性の植物の多い場所を好  
む。本市でも鳥居本・男鬼町付近の山地  
で確認している。

備考 日本固有種。留鳥



コチドリ *Charadrius dubius*

要注目種

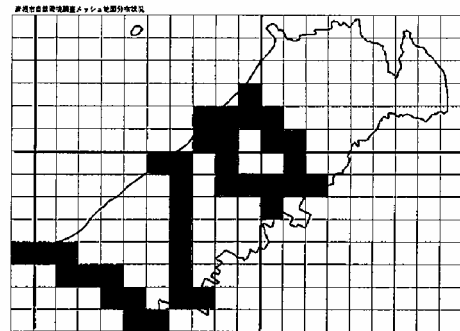
チドリ科

滋賀県： - 近畿：準絶滅危惧 国： -

形態の特徴 額と嘴は黒いが、目先と額の間は白い。  
胸に黒く太い帯がある。翼に翼帯はない。  
目のまわりが黄色い。

生息環境 河原などの地面に簡単な巣を作り、繁殖する。

備考 留鳥



ハリオアマツバメ *Hirundapus caudacutus*

要注目種

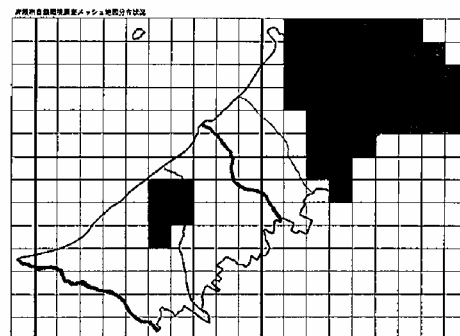
アマツバメ科

滋賀県： - 近畿：要注目 国： -

形態の特徴 体が太く、黒褐色で背の中央は灰白色、  
下腹と下腹の脇が白い。尾は短く、角尾  
である。

生息環境 低山帯から高山帯に生息する。

備考 旅鳥



コシアカツバメ *Hirundo daurica*

要注目種

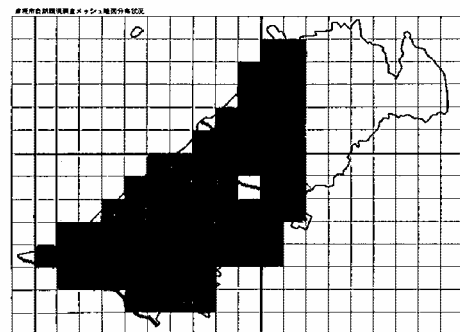
ツバメ科

滋賀県：その他重要種 近畿： - 国： -

形態の特徴 体の上面は黒色で腰が赤褐色である。尾  
が長く、燕尾型をしている。喉から下面  
全体は白っぽく、細い縦斑がある。ツバ  
メは腰が黒く、喉が赤い。イワツバメは  
小さく、腰も喉、下面も白い。

生息環境 夏鳥として渡来し、住宅や橋桁などに営  
巣する。巣の形はとっくり状で入り口が  
狭い。

備考 夏鳥



ハクセキレイ *Motacilla alba*

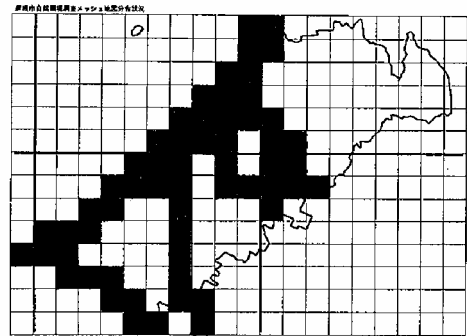
要注目種

セキレイ科

滋賀県： - 近畿：要注目 国： -

形態の特徴 顔が白く、黒い過眼線がある。胸に黒色部があり、腹は白い。頭頂から尾にかけて黒く、尾羽も黒いが尾羽の外側は白い。  
生息環境 琵琶湖岸や河川などの水辺に近いところで生息する。

備考 冬鳥



アカモズ *Lanius cristatus*

要注目種

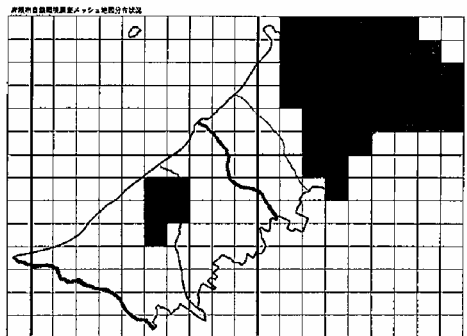
モズ科

滋賀県： - 近畿：要注目 国：準絶滅危惧

形態の特徴 頭上から尾まで赤褐色で下面は白い。額と眉斑がつながっており白く、黒い過眼線をもつ。

生息環境 平地から山地の明るい林や低木のある草原に生息する。

備考 夏鳥



キレンジャク *Bombycilla garrulus*

要注目種

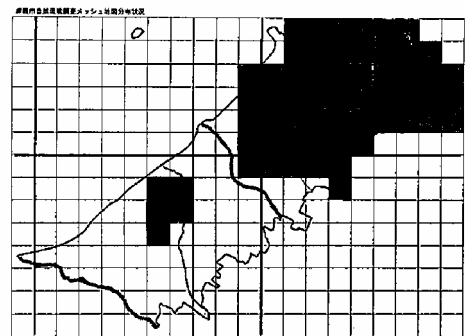
レンジャク科

滋賀県：要注目種 近畿：要注目 国： -

形態の特徴 全身淡い赤紫色でふっくらしている。頭に冠羽がある。過眼線、のど、翼、尾が黒く、尾の先は黄色い。翼に白い紋がでる。ヒレンジャクは翼に白い紋がなく、尾の先が赤い。

生息環境 低山、平地林、市街地などで見ることができ、数羽から数十羽の群れを作る。年により渡来数にむらがあり、全然来ない年もあれば、大群が電線や枯れ木に並ぶことがある。ズミ、イボタの木の實を食べ、特にヤドリギの實を好む。

備考 冬鳥





ヒレンジャク *Bombycilla japonica*

要注目種

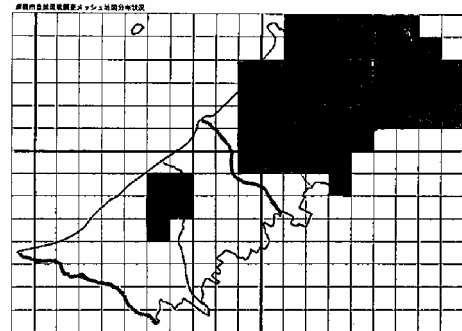
レンジャク科

滋賀県：要注目種 近畿：要注目 国：-

形態の特徴 体は太く、赤紫色。過眼線と喉は黒く、尾の先は赤い。冠羽をもつ。キレンジャクは尾の先が黄色く、翼に2箇所白い紋がある。

生息環境 低山、平地林、市街地などで見ることができ、数羽から数十羽の群れを作る。年により渡来数にむらがあり、全然来ない年もあれば、大群が電線や枯れ木に並ぶことがある。キツタ、イボタ、ネズミモチの木の実を食べ、特にヤドリギの実を好む。

備考 冬鳥



アカハラ *Turdus chrysolaus*

要注目種

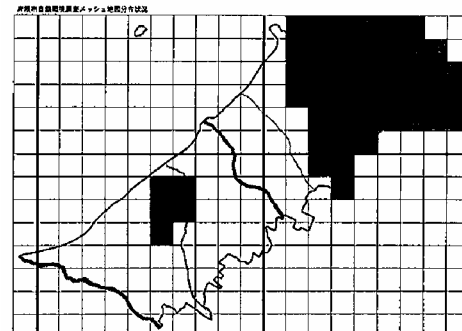
ヒタキ科

滋賀県：- 近畿：要注目 国：-

形態の特徴 胸とわき腹がオレンジ色で、腹の中央は白い。背中と尾が淡褐色である。嘴は暗褐色で嘴の基部は黄色味がかかる。

生息環境 平地や山地の森林でよく見られる。明るい林や木がまばらに生えているところを好む。

備考 留鳥



科名	種名	学名	分布域					季節 移動型	国	近畿	県	市
			山林	水田地帯	市街地	琵琶湖岸 内湖	河川敷					
カイツブリ科	カイツブリ	<i>Podiceps ruficollis</i>						留鳥				E
	ハジロカイツブリ	<i>Podiceps nigricollis</i>						冬鳥				
	カンムリカイツブリ	<i>Podiceps cristatus</i>						冬鳥		3		D
ミズナギドリ科	オオミズナギドリ	<i>Calonectris leucomelas</i>						留鳥		4		E
ウ科	カワウ	<i>Phalacrocorax carbo</i>						留鳥				
サギ科	ヨシゴイ	<i>Ixobrychus sinensis</i>						夏鳥		2		C
	ゴイサギ	<i>Nycticorax nycticorax</i>						留鳥				
	ササゴイ	<i>Butorides striatus</i>						夏鳥		3		D
	アマサギ	<i>Bubulcus ibis</i>						夏鳥				
	ダイサギ	<i>Egretta alba</i>						留鳥				
	チュウサギ	<i>Egretta intermedia</i>						留鳥	NT	3		D
	コサギ	<i>Egretta garzetta</i>						留鳥				
	アオサギ	<i>Ardea cinerea</i>						留鳥				
ガンカモ科	マガン	<i>Anas albifrons</i>						冬鳥	NT	3		C
	ヒシクイ	<i>Anser fabalis</i>						冬鳥	VU	3		C
	コハクチョウ	<i>Cygnus columbianus</i>						冬鳥		3		D
	オシドリ	<i>Aix galericulata</i>						留鳥		3		D
	マガモ	<i>Anas platyrhynchos</i>						冬鳥		3		
	カルガモ	<i>Anas poecilorhyncha</i>						留鳥				
	コガモ	<i>Anas crecca</i>						冬鳥				
	トモエガモ	<i>Anas formosa</i>						冬鳥	VU	3		D
	ヨシガモ	<i>Anas falcata</i>						冬鳥		3		D
	オカヨシガモ	<i>Anas strepera</i>						冬鳥				
	ヒドリガモ	<i>Anas penelope</i>						冬鳥				
	アメリカヒドリ	<i>Anas americana</i>						冬鳥		3		D

科名	種名	学名	分布域					季節 移動型	国	近畿	県	市
			山林	水田地帯	市街地	琵琶湖岸 内湖	河川敷					
ガンカモ科	オナガガモ	<i>Anas acuta</i>						冬鳥				
	シマアジ	<i>Anas querquedula</i>						旅鳥		3		D
	ハシビロガモ	<i>Anas clypeata</i>						冬鳥				
	ホシハジロ	<i>Aythya ferina</i>						冬鳥				
	キンクロハジロ	<i>Aythya fuligula</i>						冬鳥				
	スズガモ	<i>Aythya marila</i>						冬鳥				
	ホオジロガモ	<i>Bucephala clangula</i>						冬鳥		3		D
	ミコアイサ	<i>Mergus albellus</i>						冬鳥		3		D
	ウミアイサ	<i>Mergus serrator</i>						冬鳥		3		D
	カワアイサ	<i>Mergus merganser</i>						冬鳥		3		D
ワシタカ科	ミサゴ	<i>Pandion haliaetus</i>						留鳥	NT	2		C
	ハチクマ	<i>Pernis apivorus</i>						夏鳥	NT	2		C
	トビ	<i>Milvus migrans</i>						留鳥				
	オオタカ	<i>Accipiter gentilis</i>						留鳥	VU	3		C
	ツミ	<i>Accipiter gularis</i>						夏鳥		3		D
	ハイタカ	<i>Accipiter nisus</i>						留鳥	NT	4		D
	ノスリ	<i>Buteo buteo</i>						留鳥		3		D
	サシバ	<i>Butastur indicus</i>						夏鳥		2		C
	クマタカ	<i>Spizaetus nipalensis</i>						留鳥	EN	2		B
	イヌワシ	<i>Aquila chrysaetos</i>						留鳥	EN	1		B
	ハイイロチュウヒ	<i>Circus cyaneus</i>						冬鳥		2		C
	チュウヒ	<i>Circus aeruginosus</i>						留鳥	VU	1		C
ハヤブサ科	ハヤブサ	<i>Falco peregrinus</i>						留鳥	VU	3		C
	チゴハヤブサ	<i>Falco subbuteo</i>						留鳥		4		D
	コチョウゲンボウ	<i>Falco columbarius</i>						冬鳥		2		C

科名	種名	学名	分布域					季節 移動型	国	近畿	県	市
			山林	水田地帯	市街地	琵琶湖岸 内湖	河川敷					
ハヤブサ科	チョウゲンボウ	<i>Falco tinnunculus</i>						留鳥		3		D
キジ科	コジュケイ	<i>Bambusicola thoracica</i>						留鳥				E
	ヤマドリ	<i>Syrnaticus soemmerringii</i>						留鳥				E
	キジ	<i>Phasianus colchicus</i>						留鳥				
クイナ科	バン	<i>Gallinula chloropus</i>						留鳥				D
	オオバン	<i>Fulica atra</i>						留鳥		3		
ミヤコドリ科	ミヤコドリ	<i>Haematopus ostralegus</i>						旅鳥				
チドリ科	コチドリ	<i>Charadrius dubius</i>						留鳥		3		E
	イカルチドリ	<i>Charadrius placidus</i>						留鳥		3		D
	ムナグロ	<i>Pluvialis dominica</i>						旅鳥		3		D
	ダイゼン	<i>Pluvialis squatarola</i>						旅鳥		2		D
	ケリ	<i>Microsarcops cinereus</i>						留鳥				
	タゲリ	<i>Vanellus vanellus</i>						冬鳥		3		D
シギ科	キョウジョシギ	<i>Arenaria interpres</i>						旅鳥		3		D
	トウネン	<i>Calidris ruficollis</i>						旅鳥		3		D
	ヒバリシギ	<i>Calidris subminuta</i>						旅鳥		2		D
	ウズラシギ	<i>Calidris acuminata</i>						旅鳥		3		D
	ハマシギ	<i>Calidris alpina</i>						冬鳥		3		D
	エリマキシギ	<i>Philomachus pugnax</i>						旅鳥		2		D
	ツルシギ	<i>Tringa erythropus</i>						旅鳥		3		D
	アオアシシギ	<i>Tringa nebularia</i>						旅鳥		3		D
	クサシギ	<i>Tringa ochropus</i>						旅鳥		3		D
	タカブシギ	<i>Tringa glareola</i>						旅鳥		3		D
	キアシシギ	<i>Tringa brevipes</i>						旅鳥		3		D
	イソシギ	<i>Tringa hypoleucos</i>						留鳥		2		D

科名	種名	学名	分布域					季節 移動型	国	近畿	県	市
			山林	水田地帯	市街地	琵琶湖岸 内湖	河川敷					
シギ科	ホウロクシギ	<i>Numenius madagascariensis</i>						旅鳥	VU	2		D
	チュウシャクシギ	<i>Numenius phaeopus</i>						旅鳥		3		D
	ヤマシギ	<i>Scolopax rusticola</i>						留鳥		3		D
	タシギ	<i>Gallinago gallinago</i>						冬鳥		3		D
カモメ科	ユリカモメ	<i>Larus ridibundus</i>						留鳥				
	セグロカモメ	<i>Larus argentatus</i>						冬鳥				
	カモメ	<i>Larus canus</i>						冬鳥				
	ウミネコ	<i>Larus crassirostris</i>						冬鳥		4		
	アジサシ	<i>Sterna hirundo</i>						旅鳥				
	コアジサシ	<i>Sterna albifrons</i>						夏鳥	VU	2		C
ハト科	キジバト	<i>Streptopelia orientalis</i>						留鳥				
	アオバト	<i>Sphenurus sieboldii</i>						留鳥		4		D
	ドバト	<i>Columba livia</i>						留鳥				
ホトトギス科	カッコウ	<i>Cuculus canorus</i>						夏鳥		3		D
	ツツドリ	<i>Cuculus saturatus</i>						夏鳥		3		D
	ホトトギス	<i>Cuculus poliocephalus</i>						夏鳥		3		D
フクロウ科	コミミズク	<i>Asio flammeus</i>						冬鳥		2		C
	アオバズク	<i>Ninox scutulata</i>						夏鳥		3		D
	フクロウ	<i>Strix uralensis</i>						留鳥		3		D
ヨタカ科	ヨタカ	<i>Caprimulgus indicus</i>						夏鳥		2		C
アマツバメ科	ハリオアマツバメ	<i>Hirundapus caudacutus</i>						旅鳥		4		E
	アマツバメ	<i>Apus pacificus</i>						旅鳥		4		D
カワセミ科	カワセミ	<i>Alcedo atthis</i>						留鳥		3		D
キツツキ科	アリスイ	<i>Jynx torquilla</i>						夏鳥		3		D
	アオゲラ	<i>Picus awokera</i>						留鳥		3		D

科名	種名	学名	分布域					季節 移動型	国	近畿	県	市
			山林	水田地帯	市街地	琵琶湖岸 内湖	河川敷					
キツツキ科	アカゲラ	<i>Dendrocopos major</i>						留鳥		3		D
	コゲラ	<i>Dendrocopos kizuki</i>						留鳥				
ヒバリ科	ヒバリ	<i>Alauda arvensis</i>						留鳥				
ツバメ科	ショウドウツバメ	<i>Riparia riparia</i>						旅鳥				
	ツバメ	<i>Hirundo rustica</i>						留鳥				
	コシアカツバメ	<i>Hirundo daurica</i>						夏鳥				E
	イワツバメ	<i>Delichon urbica</i>						夏鳥				
セキレイ科	キセキレイ	<i>Motacilla cinerea</i>						留鳥				
	ハクセキレイ	<i>Motacilla alba</i>						冬鳥		4		E
	セグロセキレイ	<i>Motacilla grandis</i>						留鳥				
	ピンズイ	<i>Anthus hodgsoni</i>						冬鳥		4		D
	タヒバリ	<i>Anthus spinoletta</i>						冬鳥				D
サンショウクイ科	サンショウクイ	<i>Pericrocotus divarricatus</i>						夏鳥	VU	3		D
ヒヨドリ科	ヒヨドリ	<i>Hypsipetes amaurotis</i>						留鳥				
モズ科	モズ	<i>Lanius bucephalus</i>						留鳥				
	アカモズ	<i>Lanius cristatus</i>						夏鳥	NT	4		E
レンジャク科	キレンジャク	<i>Bombycilla garrulus</i>						冬鳥		4		E
	ヒレンジャク	<i>Bombycilla japonica</i>						冬鳥		4		E
カワガラス科	カワガラス	<i>Cinclus pallasii</i>						留鳥		3		D
ミソサザイ科	ミソサザイ	<i>Troglodytes troglodytes</i>						留鳥		3		D
ヒタキ科	コルリ	<i>Luscinia cyane</i>						夏鳥		3		D
	ルリビタキ	<i>Tarsiger cyanurus</i>						冬鳥		3		D
	ジョウビタキ	<i>Phoenicurus auroreus</i>						冬鳥				
	イソヒヨドリ	<i>Monticola solitarius</i>						漂鳥		4		D
	トラツグミ	<i>Turdus dauma</i>						留鳥		2		C

科名	種名	学名	分布域					季節 移動型	国	近畿	県	市
			山林	水田地帯	市街地	琵琶湖岸 内湖	河川敷					
ヒタキ科	クロツグミ	<i>Turdus cardis</i>						夏鳥		3		D
	アカハラ	<i>Turdus chrysolaus</i>						留鳥		4		E
	シロハラ	<i>Turdus pallidus</i>						冬鳥				
	ツグミ	<i>Turdus naumanni</i>						冬鳥				
	ヤブサメ	<i>Urosphena squameiceps</i>						夏鳥				D
	ウグイス	<i>Cettia diphone</i>						留鳥				
	オオヨシキリ	<i>Acrocephalus arundinaceus</i>						夏鳥		3		D
	メボソムシクイ	<i>Phylloscopus borealis</i>						旅鳥		3		D
	エゾムシクイ	<i>Phylloscopus tenellipes</i>						旅鳥		3		D
	センダイムシクイ	<i>Phylloscopus occipitalis</i>						夏鳥		3		D
	セッカ	<i>Cisticola juncidis</i>						留鳥		4		D
	キビタキ	<i>Ficedula narcissina</i>						夏鳥		3		D
	オオルリ	<i>Cyanoptila cyanomelana</i>						夏鳥		3		D
	サメビタキ	<i>Muscicapa sibirica</i>						夏鳥		4		D
	エゾビタキ	<i>Muscicapa griseisticta</i>						旅鳥		3		D
	コサメビタキ	<i>Muscicapa latirostris</i>						夏鳥		4		D
サンコウチョウ	<i>Terpsiphone atrocaudata</i>						夏鳥		3		D	
エナガ科	エナガ	<i>Aegithalos caudatus</i>						留鳥				
シジュウカラ科	コガラ	<i>Parus montanus</i>						留鳥		4		D
	ヒガラ	<i>Parus ater</i>						留鳥				
	ヤマガラ	<i>Parus varius</i>						留鳥				
	シジュウカラ	<i>Parus major</i>						留鳥				
メジロ科	メジロ	<i>Zosterops japonica</i>						留鳥				
ホオジロ科	ホオジロ	<i>Emberiza cioides</i>						留鳥				
	カシラダカ	<i>Emberiza rustica</i>						冬鳥				

科名	種名	学名	分布域					季節 移動型	国	近畿	県	市
			山林	水田地帯	市街地	琵琶湖岸 内湖	河川敷					
ホオジロ科	ミヤマホオジロ	<i>Emberiza elegans</i>						冬鳥		3		D
	アオジ	<i>Emberiza spodocephala</i>						冬鳥		3		
	オオジュリン	<i>Emberiza schoeniclus</i>						留鳥				D
アトリ科	アトリ	<i>Fringilla montifringilla</i>						冬鳥				
	カワラヒワ	<i>Carduelis sinica</i>						留鳥				
	ベニマシコ	<i>Uragus sibiricus</i>						冬鳥		4		D
	ウソ	<i>Pyrrhula pyrrhula</i>						冬鳥		4		D
	イカル	<i>Eophona personata</i>						留鳥				
	シメ	<i>Coccothraustes coccothraustes</i>						冬鳥		4		D
ハタオリドリ科	スズメ	<i>Passer montanus</i>						留鳥				
ムクドリ科	コムクドリ	<i>Sturnus philippensis</i>						夏鳥		3		D
	ムクドリ	<i>Sturnus cineraceus</i>						留鳥				
カラス科	カケス	<i>Garrulus glandarius</i>						留鳥				
	ミヤマガラス	<i>Corvus frugilegus</i>						冬鳥		4		
	ハシボソガラス	<i>Corvus corone</i>						留鳥				
	ハシブトガラス	<i>Corvus macrorhynchos</i>						留鳥				



(参考) 科別・季節移動型別の出現種数

科名	夏鳥	留鳥	旅鳥	冬鳥	計
カイツブリ		1		2	3
ミズナギドリ		1			1
ウ		1			1
サギ	3	5			8
ガンカモ		1	1	20	22
ワシタカ	3	8		1	12
ハヤブサ	1	3			4
キジ		3			3
クイナ		2			2
ミヤコドリ			1		1
チドリ		3	2	1	6
シギ		2	12	2	16
カモメ	1	1	1	3	6
ハト		3			3
ホトトギス	3				3
フクロウ	1	1		1	3
ヨタカ	1				1
アマツバメ			2		2
カワセミ		1			1
キツツキ	1	3			4
ヒバリ		1			1
ツバメ	2	1	1		4
セキレイ		2		3	5
サンショウクイ	1				1
ヒヨドリ		1			1
モズ	1	1			2
レンジャク				2	2
カワガラス		1			1
ミソサザイ		1			1
ヒタキ	9	4	3	6	22
エナガ		1			1
シジュウカラ		4			4
メジロ		1			1
ホオジロ		1		4	5
アトリ		2		4	6
ハタオドリ		1			1
ムクドリ		1	1		2
カラス		3		1	4
総計	27	65	24	50	166